

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

---

平成 25 年 2 月号会告・通知目次

---

|   |    |
|---|----|
| ◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 2 月 2 日～3 月 8 日）              | 2  |
| ◇第二種研究会開催案内・発表募集案内                                | 21 |
| ◇2013 年総合大会開催案内                                   | 26 |
| ◇講演会・講習会・学術研究集会等                                  |    |
| ・ 関西支部 電気四学会関西支部照明技術講演会「平成 23 年度照明普及賞受賞施設照明設計講演会」 | 27 |
| ・ 本会が協賛等のもの                                       | 27 |
| ◇国際会議   | 28 |
| ◇受賞候補者募集等   | 28 |
| ◇求人欄  | 29 |
| ◇お知らせ   |    |
| ・ 平成 25 年度会費お払込みのお願い                              | 30 |
| ・ 登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい                         | 30 |
| ・ 平成 25 年 2 月号及び 3 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ              | 30 |
| ◇論文特集原稿募集   |    |
| ・ 学生論文特集（和文論文誌 A）                                 | 31 |
| ・ 柔軟な ICT システムとサービスに向けた管理技術小特集（英文論文誌 B）           | 32 |
| ・ 学生論文特集（和文論文誌 D）                                 | 32 |
| ◇通信ソサイエティマガジン年間購読申込みについて                          | 34 |
| ◇IEICE Communications Express（ComEX）投稿案内          | 35 |
| ◇FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム論文講演募集予告                | 36 |
| ♣各種証明，閲覧の手数料について                                  | 29 |
| ♣複写される方へ  | 33 |
| ♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について                        | 30 |

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 25 年 2 月 2 日～3 月 8 日

開催プログラムは変更になることがあります。  
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。  
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

### ◎基礎・境界ソサイエティ

| 研究会名              | 日 時   | 会 場               | 告 頁 |
|-------------------|---|-------------------|-----|
| 超 音 波             | 19日(火) 13:00~17:05  | 機械振興会館            | 6   |
| 思 考 と 言 語         | 22日(金)<br>23日(土) (未定)   | 明治大学・国際総合研究所      | 6   |
| I T S 画 像 工 学     | 18日(月) 9:20~16:40<br>19日(火) 9:20~16:00                        | 北海道大学・大学院・情報科学研究科 | 12  |
| 信 頼 性 機 構 デ バ イ ス | 15日(金) 13:35~16:20  | 住友電装              | 16  |
| V L S I 設 計 技 術   | 3月4日(月) 13:50~17:00<br>5日(火) 10:00~16:50<br>6日(水) 10:30~16:00 | 沖縄県青年会館           | 21  |

2月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，応用音響，非線形問題，VLSI 設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，技術と社会・倫理，安全性，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ

### ◎通信ソサイエティ

| 研究会名                                     | 日 時  | 会 場              | 告 頁 |
|--|--|------------------|-----|
| ア ン テ ナ ・ 伝 播                            | 7日(木) 9:00~17:15   | 産業技術総合研究所・臨海センター | 4   |
| インターネットアーキテクチャ                           | 14日(木) 14:00~17:10<br>15日(金) 10:00~16:25                     | 機械振興会館           | 5   |
| 無 線 通 信 シ ス テ ム<br>ソ フ ト ウ ェ ア 無 線       | 27日(水) 9:00~17:25<br>28日(木) 8:40~18:00<br>3月1日(金) 9:00~17:00 | 早稲田大学・西早稲田キャンパス  | 7   |
| 光 通 信 シ ス テ ム<br>光 ファイバ応用技術<br>光エレクトロニクス | 28日(木) 13:35~17:40<br>3月1日(金) 9:00~17:55                     | 機械振興会館           | 11  |
| 宇宙・航行エレクトロニクス<br>衛 星 通 信                 | 21日(木) 13:00~19:00<br>22日(金) 9:00~15:35                      | 沖縄県青年会館          | 19  |

2月休会の研究会；環境電磁工学，ネットワークシステム，情報ネットワーク，通信方式，電子通信エネルギー技術，コミュニケーションクオリティ，フォトニックネットワーク，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク

### ◎エレクトロニクスソサイエティ

| 研究会名                              | 日 時                                      | 会 場           | 告 頁 |
|-----------------------------------|--|---------------|-----|
| シリコン材料・デバイス                       | 4日(月) 10:00~16:50                        | 機械振興会館        | 4   |
| 光エレクトロニクス<br>光通信システム<br>光ファイバ応用技術 | 28日(木) 13:35~17:40<br>3月1日(金) 9:00~17:55 | 機械振興会館        | 11  |
| 電子デバイス<br>シリコン材料・デバイス             | 27日(水) 13:30~17:45<br>28日(木) 9:00~12:10  | 北海道大学・百年記念会館  | 14  |
| 機 構 デ バ イ ス<br>信 頼 性              | 15日(金) 13:35~16:20                       | 住友電装          | 16  |
| 磁気記録・情報ストレージ                      | 3月8日(金) 13:05~17:30                      | 名古屋大学・IB電子情報館 | 17  |

2月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子部品・材料，電磁界理論，マイクロ波，集積回路，有機エレクトロニクス，レーザー・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス

◎情報・システムソサイエティ

| 研究会名               | 日時      |             | 会場                  | 告頁 |
|--------------------|---------|-------------|---------------------|----|
| ディペンダブルコンピューティング   | 13日(水)  | 10:00~17:05 | 機械振興会館              | 4  |
| クラウドネットワークロボット     | 18日(月)  | 13:00~16:35 | 機械振興会館              | 6  |
| ソフトウェアインタプライズモデリング | 20日(水)  | 13:00~17:35 | 機械振興会館              | 6  |
| 画像工学<br>ITS        | 18日(月)  | 9:20~16:40  | 北海道大学・大学院・情報科学研究科   | 12 |
|                    | 19日(火)  | 9:20~16:00  |                     |    |
| 音声                 | 28日(木)  | 11:00~17:00 | 大同大学                | 16 |
|                    | 3月1日(金) | 9:20~14:20  |                     |    |
| 人工知能と知識処理          | 18日(月)  | 9:20~16:50  | 大阪電気通信大学・寝屋川駅前キャンパス | 17 |
| パターン認識・メディア理解      | 21日(木)  | 9:30~17:40  | 大阪府立大学・中百舌鳥キャンパス    | 18 |
|                    | 22日(金)  | 9:00~17:10  |                     |    |

2月休会の研究会：MEとバイオサイバネティクス，ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，言語理解とコミュニケーション，コンピュータシステム，コンピューテーション，ソフトウェアサイエンス，データ工学，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，教育工学，医用画像，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，サービスコンピューティング

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

| 研究会名   | 日時    |             | 会場      | 告頁 |
|--------|-------|-------------|---------|----|
| 福祉情報工学 | 2日(土) | 10:10~18:05 | 名古屋工業大学 | 15 |

2月休会の研究会：ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎

◇第二種研究会開催案内

|  |                  |                  |    |
|--|------------------|------------------|----|
| 第14回フォトニックネットワークチュートリアル講演会               | 2月8日(金)          | テレコム先端技術研究支援センター | 21 |
| 短距離無線通信研究会(SRW)／複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS) | 2月27日(水)~3月1日(金) | 早稲田大学・西早稲田キャンパス  | 7  |
| 第5回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会                | 2月28日(木)         | 機械振興会館           | 22 |
| 第29回ネットワークシステム・情報ネットワーク研究ワークショップ         | 3月6日(水)，7日(木)    | 沖縄残波岬ロイヤルホテル     | 22 |
| 2013年情報通信マネジメントワークショップ                   | 3月14日(木)         | 屋久島環境文化村センター     | 23 |

◇第二種研究会発表募集案内

|                      |                 |          |    |
|----------------------|-----------------|----------|----|
| 第1回ネットワークソフトウェア研究会   | 4月18日(木)，19日(金) | 輪島商工会議所  | 24 |
| LSIとシステムのワークショップ2013 | 5月13日(月)~15日(水) | 北九州国際会議場 | 25 |

## ★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三  
幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 2月4日(月) 10:00~16:50

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL (03) 3434-8211)

議題 配線・実装技術と関連材料技術

### 1. 排熱 TSV へ向けたナノカーボン材料の熱特性評価

○川端章夫・二瓶瑞久・村上 智・佐藤元伸・横山直樹(産総研)

### 2. CuSn/InAu マイクロバンプにより誘起される 3D-LSI の機械的応力と局所変形

○マリアッパン ムルゲサン・小柳光正(東北大)

### 3. Line-Edge Roughness を考慮した微細金属配線のモンテカルロ・シミュレーション(仮題)

○来栖貴史・谷本弘吉・和田 真・磯林厚伸・梶田明広・青木伸俊・豊島義明(東芝)

### 4. 原子移動型スイッチを使ったスマート配線技術と低電力再構成回路への応用

○多田宗弘・阪本利司・宮村 信・伴野直樹・岡本浩一郎・井口憲幸・波田博光(LEAP)

### 5. 配線構造体内の Cu/絶縁膜の局所変形と界面破壊現象(仮題)

神谷庄司(名工大)

### 6. 白色 LED 向け高放熱性ウエハーレベル・チップスケール・パッケージの開発

○秋元陽介・小島章弘・島田美代子・富澤英之・古山英人・小幡 進・樋口和人・杉崎吉昭・柴田英毅(東芝)

### 7. 高密度チップ集積を実現する微細再配線の高信頼化技術

○神吉剛司・池田淳也・須田章一・小林靖志・中田義弘・中村友二(富士通研)

### 8. 無電解めっき法を用いた高アスペクト比 TSV への Cu シード層形成

○井上史大・新宮原正三(関西大)・ハロルド フィリップセン(IMEC)

### ◆応用物理学会共催

☆SDM 研究会今後の予定

2月27日(水), 28日(木) 北大 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良  
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 2月7日(木) 9:00~17:15

会場 産業技術総合研究所臨海センター本館4F 第一, 二会議室(江東区青海2-3-26. 新交通ゆりかもめ:テレコムセンター駅下車徒歩約5分, 船の科学館駅下車徒歩約10分. <http://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html> TEL (03) 3599-8006(会場) 黒川 悟)

議題 放送技術, 測定, 一般

### A・P-1. 定在波振幅測定を用いた簡易な自動整合回路

○牧村英俊・西本研悟・深沢 徹・宮下裕章・

A・P-2. EMI 測定用ログペリオディックアンテナの近距離でのアンテナ利得測定

○黒川 悟・廣瀬雅信・  
館谷充隆(産総研)

3. 21 GHz 帯アレー給電鏡面修整反射鏡アンテナの励振電力の均一化

○中澤 進・長坂正史・田中祥次(NHK)

4. SHV 伝送用 120 GHz 帯無線伝送システムの検討

○杉之下文康・津持 純・長坂正史・田中祥次(NHK)・  
岡部 聡(NHK-ES)

5. 電波伝搬を実時間観察する電界映像技術

○塩沢隆広(香川高専)・土屋昌弘(NICT)

6. データ放送タッチ操作対応—ブラウザからの変化情報により, データ放送をタッチ操作対応に—

○勝屋宏一・  
渡邊一弘(パナソニック)

A・P-7. ダイアディックグリーン関数を用いた導体球近傍に存在する波源位置推定

○森田祐樹・羽賀 望・  
本島邦行(群馬大)

A・P-8. マイクロ波を用いた円形金属管内部における変形検出の試み

○米田佑樹・羽賀 望・本島邦行(群馬大)

A・P-9. リフレクタレーアンテナにおける交差偏波低減の検討

○谷口将一・紀平一成・高橋 徹・小西善彦(三菱電機)

10. 金属製小型手術器具管理用 RFID タグアンテナ

○松村崇史・高橋応明・齊藤一幸・伊藤公一(千葉大)

11. 移動中継用 FPU の運用における SAR の比較

○小郷直人・池田哲臣(NHK)

A・P-12. [チュートリアル講演] 端末スマートアンテナシステムの性能評価技術

小川晃一(富山大)

IEEE AP-S Japan Chapter/IEEE BT-S Japan Chapter 共同主催特別講演

A・P-13. [特別講演] 分極反転光変調を用いたアレイアンテナ(口頭発表)

村田博司(阪大)

◆映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催. IEEE AP-S Japan Chapter, IEEE BT-S Japan Chapter 共催

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 湯河原商工会館[締切済] テーマ:一般

### 【問合先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

## ★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康  
幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 2月13日(水) 10:00~17:05

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 VLSI 設計とテスト及び一般

テスト生成

1. 解の再利用によるテスト生成のためのハードウェア SAT ソルバの実装

○向井俊矢・上田健司・岩垣 剛・市原英行・  
井上智生(広島市大)

2. SAT ソルバを用いたテスト生成の高速化手法について

松永裕介(九大)

欠陥検出能力評価

3. クリティカルエリア解析に基づく故障カバレッジ見積りに関する一考察 ○清水貴弘・中山裕太・新井雅之・岩崎一彦 (首都大東京)

4. 縮退故障テスト集合と遷移故障テスト集合を用いた欠陥検出能力向上のためのドントケア割当て法 ○若杉諒介・細川利典 (日大)・吉村正義 (九大)

午後 遅延テスト (13:30~)

5. 半断線故障検出のための信号遅延の特性評価 ○大栗裕人・四柳浩之・橋爪正樹 (徳島大)・堤 利幸・山崎浩二 (明大)・樋上善信・高橋 寛 (愛媛大)

6. 隣接 TSV を考慮した TSV 遅延故障検出法について ○中村真規・四柳浩之・橋爪正樹 (徳島大)

セキュリティとテスト

7. AES 暗号回路におけるトロイ回路設計の影響評価及びその一考察 ○荻田英実・細川利典 (日大)・吉村正義 (九大)

8. テスト応答圧縮器のセキュリティ評価の一手法 ○吉村正義・松永裕介 (九大)

フィールドテストと許容故障判定

9. エラートラントアプリケーションのための論理回路簡単化における必須割当てを利用した許容故障判定法 ○松木伸伍・亀井惇平・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)

10. モニタ回路による製造バラツキを考慮した温度・電圧推定手法 ○三宅庸資・津森 渉・佐藤康夫・梶原誠司 (九工大)・三浦幸也 (首都大東京)

11. フィールドでの組込み自己テストにおける不定値処理に関するデータ量削減手法 ○吉見優太・大和勇太・米田友和・畠山一実・井上美智子 (奈良先端大)

☆DC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月13日(水), 14日(木) 対馬市交流センター [締切済]  
テーマ: 組込み技術とネットワークに関するワークショップ  
ETNET2013

【問合先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)  
E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

## ★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

日時 2月14日(木) 14:00~17:10

15日(金) 10:00~16:25

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 スマートグリッド, 一般

14日 センサネットワーク

1. IEEE1888 のリソース情報管理機構とアクセスコントロールリスト配布機構の連携方式の提案 ○赤井和幸・福田富美男・古川嘉誠 (NTT コムウェア)・落合秀也 (東大)・峰野博史 (静岡大)・江崎 浩 (東大)

2. メッセージングネットワークのスマートグリッドへの応用に向けて ○林 隆史・戸倉 一・阿部泰弘・山崎治郎 (会津大)

3. ZigBee と RFID によるオオミズナギドリ観測ネットワークの開発と評価 ○倉園博樹・山本 寛・山本麻希 (長岡技科大)・中村勝一 (ネットワーク応用技研)・山崎克之 (長岡技科大)

モバイル/クラウドネットワーク

4. Android 端末への無線 LAN マルチキャストによる情報配信システムの開発と評価 ○近藤喜芳・山本 寛 (長岡技科大)・佐々木 力・阿野茂浩 (KDDI 研)・山崎克之 (長岡技科大)

5. 擬似ストリーミングによる映像監視ネットワークの開発と評価 ○ブイグエンフオン・山本 寛・山崎克之 (長岡技科大)

6. 動的広域分散配置型サーバシステムにおけるクラウド選択システムの開発 ○川津祐基・神屋郁子・下川俊彦 (九州産大)

7. ユーザの複数端末利用に対応したネットワークアクセス制御システムの開発 ○古川千尋・神屋郁子・下川俊彦 (九州産大)

15日午前 チュートリアルセッション「IEEE 1888 の活用方法」

1. [チュートリアル講演] オープン・スマート・ファシリ

ティーを実現する IEEE1888—設計思想と実運用事例—  
江崎 浩 (東大)

2. [チュートリアル講演] IEEE1888 に基づくシステム設計と構築  
落合秀也 (東大)

3. [チュートリアル講演] IEEE1888 で実現するスマート節電システム—BE GREEN Next と IEEE1888 の適用事例—  
伊藤公祐 (エディテック)

15日午後 インターネット応用 (13:30~)

4. 論理の生理学 (デジタル言語学その4) —論理とは学習によって獲得される信号伝達経路ではないか—  
得丸公明 (システムエンジニア)

5. 個人情報保護を考慮した空間情報構築手法の検討  
○青木俊介・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)

6. EU における研究システムの現状  
○中川慶次郎・青木俊介・小林博樹・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)

ネットワーク評価

7. ネットワーク内部情報可視化を利用した消費電力削減法  
○持永 大 (早大)・小林克志 (理研)・後藤滋樹 (早大)

8. FPGA を用いた柔軟なネットワーク試験環境の実現  
○空閑洋平・松谷健史 (慶大)・榎山寛章 (奈良先端大)・中村 修 (慶大)

9. 形式化アプローチによるルーティングプロトコルの安全性検証  
○室田朋樹 (東大)・榎山寛章 (奈良先端大)・加藤 朗 (慶大)

◎14日18:00~20:00に懇親会, 15日16:10~16:20に学生研究奨励賞授賞式を行います。

☆IA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 東大寺総合文化センター [締切済]  
テーマ: インターネットと情報倫理教育, 一般

【問合先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室内)  
TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

## ★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 安西祐一郎 副委員長 萩田紀博・土井美和子  
幹事 今井倫太・宮下敬宏  
幹事補佐 富田仁志・杉山博史・中尾敏康

日時 2月18日(月) 13:00~16:35

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 クラウドネットワークロボットサービス及びその他一般

1. [招待講演] 拡張サービス・プロセス・リエンジニアリング  
○蔵田武志・天目隆平・福原知宏・牧田孝嗣・大隈隆史・  
石川智也・大西正輝・興梠正克(産総研)
2. 高齢者の転倒危険性推定を目的とした歩行解析  
○福家佐和・鈴木琢治(東芝)
3. 時間変化する空間情報を用いた人とロボットの移動支援  
○寺本やえみ・丸山貴志子・佐藤暁子・富田仁志(日立)
4. ロボットアームを用いた非伝搬波の測定実験  
○大越祐志・加藤康男・佐久田博司(青学大)
5. マイクロロボットによる被災地の要救護者探索においてマイ  
クロロボットの性能や機能が目標発見に与える影響の評価  
○原田 稔・小泉佑揮・渡部康平・大崎博之・  
今瀬 真(阪大)
6. 全方位台車を用いたロボットアバタシステム  
中谷慶太(慶大)
7. インタフェースロボット ApriPetit (TM) (アプリプチ) の  
開発 ○山本大介・山地雄士・杉山博史・土井美和子(東芝)

## ★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎  
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 2月19日(火) 13:00~17:05

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 アコースティックイメージング, 一般

1. SLDV と空中放射音波を用いたコンクリート表層部の欠陥映  
像化に関する研究—剥離欠陥検出の検討— ○赤松 亮・  
杉本恒美(桐蔭横浜大)・歌川紀之(佐藤工業)・  
片倉景義(明篤技研)
2. 音波振動による土壌中の水分分布計測に関する研究—伝搬音  
速の推定精度と植物栽培中の土壌水分測定に関する検討—  
○杉本恒美・中川 裕(桐蔭横浜大)
3. 2枚の短冊形たわみ振動板を用いた空中超音波音源による液  
滴の非接触微粒化 ○柳本聖月・三浦 光(日大)
4. 電極/回転 Y-XLiTaO<sub>3</sub> 基板及び SiO<sub>2</sub>/電極/回転 Y-  
XLiTaO<sub>3</sub> 基板の擬似弾性表面波の伝搬特性の解析  
山之内和彦(東北大)
5. 有限長圧電振動子からの音の伝搬挙動について  
○宇田川義夫(ISL)・小堀修身(阪産大)
6. ガイド波による平板減肉形状のイメージング ○廣瀬壮一・  
王 彬(東工大)
7. 金属及び複合材内の異質部・損傷部の高調波画像化  
川嶋紘一郎(超音波診断研)
8. 超音波ガイド波の軸対象欠陥での反射挙動と欠陥のサイズ推  
定 西野秀郎(徳島大)
9. 低周波アレイ探触子を用いたコンクリート中の空隙の超音波  
イメージング ○中畑和之・川村 郡(愛媛大)・

告 6

廣瀬壮一(東工大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会/Aコースティックイメージ  
ング研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催, 日  
本非破壊検査協会協賛

☆US 研究会今後の予定

3月 休会

【問合先】

美谷周二朗(東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

## ★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保  
幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 2月20日(水) 13:00~17:35

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 インタプライズモデル化技術, 一般

1. [基調講演] ビジネスモデルの動向とビジネス方法特許(仮  
題) 幡鎌 博(文教大)
2. o2o 有野真史
3. 高齢者の生きた証コンテンツ制作ビジネスモデルの企画—写  
真による私の履歴書コンテンツ制作ビジネスモデル—  
市村 洋(こども教育宝仙大)
4. 映像コンテンツ(テレビ番組・映画)制作プロセスの研究  
矢本成恒(名古屋商科大)
5. ビジネスデザイン序説—ビジネスモデルの構築—  
小松昭英(APSOM)
6. ビジネスモデルの記述に関する一考察 丸山文宏(富士通研)
7. インターネット上のビジネスモデル類型化の新提案  
永吉実武(東工大)
8. ビジネスモデルを科学する—プロジェクト報告 002—  
野地 保(東海大)

【問合先】

片岡信弘(元東海大)

E-mail: kataoka9@kataoka9.com

## ★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 近藤公久・佐良木 昌  
幹事 黒田 航・久保村千明 幹事補佐 横野 光・乾 孝司

期日 2月22日(金), 23日(土)

会場 明治大学国際総合研究所

議題 言語における美の表現

◎開催プログラムは TL 研究会の HP 等を御参照下さい。

## ★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一  
幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス  
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

## ★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生  
幹事 有吉正行・亀田 卓  
幹事補佐 田久 修・石津健太郎・矢野一人

## ★短距離無線通信研究会 (SRW) (第二種研究会)

専門委員長 加藤修三 副委員長 加藤正文・原田博司  
幹事 田野 哲・溝口匡人 幹事補佐 沢田浩和・藍 洲

## ★複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS)(第二種研究会)

委員長 岡本英二 副委員長 田中久陽・長谷川幹雄  
幹事 岡田 啓・鳥飼弘幸  
幹事補佐 青野真士・関屋大雄・坪 泰宏・中尾裕也

◎本研究会は RCS 研究会と SR 研究会, SRW 研究会 (第二種), CCS 研究会 (第二種) の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 2月27日(水) 9:00~17:25  
28日(木) 8:40~18:00  
3月1日(金) 9:00~17:00

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス(新宿区大久保3-4-1。山手線:高田馬場駅から徒歩15分。http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html 前原文明)

議題 移動通信ワークショップ

27日午前 RCS1(第3会議室)(9:00~10:20)

RCS-1. THP マルチユーザ MIMO システムにおけるチャネル推定誤差の影響の低減手法 ○藤田尚吾・レオナルド ラナンテ ジュニア(九工大)・長尾勇平(Radrix)・黒崎正行・尾知 博(九工大)

RCS-2. THP を用いる下りリンク MU-MIMO における MMSE 規範受信アンテナ合成方法に関する検討

○高橋浩利(早大)・留場宏道・小野寺 毅・窪田 稔(シャープ)・前原文明・高畑文雄(早大)

RCS-3. An LQ-Less Implementation of Tomlinson Harashima Precoding (THP) ○Oussama Souihli・Yasuyuki Hatakawa・Satoshi Konishi (KDDI R & D Labs)

RCS-4. マルチユーザ MIMO システムにおける Projection 手法を用いたブロック対角化手法 ○吉田拓郎・レオナルド ラナンテ ジュニア(九工大)・長尾勇平(レドックス)・斉 培恒・黒崎正行・尾知 博(九工大)

RCS2(第3会議室)(10:30~12:10)

RCS-5. Hermitian Splitting Precoding (HSP) for Wireless MIMO Systems—All The Channel Capacity, Half The Signaling Cost—

○Oussama Souihli・Yasuyuki Hatakawa・Satoshi Konishi (KDDI R & D Labs)

RCS-6. Vector Perturbation を用いる下りリンク MU-MIMO における摂動ベクトル探索技術に関する検討

○高田雅人(早大)・留場宏道・小野寺 毅・窪田 稔(シャープ)・前原文明・高畑文雄(早大)

RCS-7. Open-Loop Homographic Precoding (OLHP) —A

Method for Seamless (Interference-Free) Multiuser Transmission in Wireless SISO/MIMO Systems With No Channel State Information At The Transmitter (CSIT) —

○Oussama Souihli・Yasuyuki Hatakawa・Satoshi Konishi (KDDI R & D Labs)

RCS-8. 空間相関が存在するマルチパスフェージング環境下におけるブロック対角化法に基づく MU-MIMO システムの伝送特性評価について ○宮坂浩平・長橋嵩晴・山口一弘・松江英明(諏訪東京理科大)

RCS-9. A Conjugate Gradient (CG) Algorithm for Interference Alignment ○Semaganga Frank・Takuro Sato (Waseda Univ)

27日午後 RCS5(第3会議室)(13:00~14:20)

RCS-10. マルチユーザ MIMO テストベッドを用いた CSI 圧縮方式の特性評価 ○松本知子・畑川養幸・小西 聡(KDDI 研)

RCS-11. ソフトウェア無線機により試作したマルチユーザ MIMO 実験システムの構成 ○谷口真人・齊藤 俊・村田英一・吉田 進・山本高至(京大)・梅原大祐(京都工繊大)・田野 哲(岡山大)・守倉正博(京大)

RCS-12. 空間相関シャドウイングを考慮した分散 MIMO システムのチャネル容量評価 ○趙 欧・村田英一・吉田 進(京大)

RCS-13. マルチユーザ MIMO 実験システムにおけるユーザ選択手法に関する一検討 ○齊藤 俊・谷口真人・村田英一・吉田 進・山本高至(京大)・梅原大祐(京都工繊大)・田野 哲(岡山大)・守倉正博(京大)

RCS-14. 循環遅延パイロットチャネル推定を用いたシングルキャリア MIMO 多重度適応切替通信 ○長岡 諒・熊谷慎也・山本哲矢・安達文幸(東北大)

RCS-15. 上りリンク SC-FDMA におけるサブキャリアグループングを用いたユーザスケジューリング ○岩田隆芳・木村和裕・宮崎寛之・小原辰徳・安達文幸(東北大)

RCS-16. 時間・周波数二重選択性伸上・ライスフェージング環境下におけるシングルキャリア単一周波数ネットワーク送受信ダイバーシチの伝送特性 ○ジミーハディ スサント・宮崎寛之・天間克宏・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸(東北大)

RCS-17. 送受信協調 MMSE フィルタリングを用いる適応シングルキャリア MIMO 伝送の HARQ スループット ○熊谷慎也・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸(東北大)

RCS-18. RoF を適用した無線 LAN システムの AP によるスループット特性改善法 ○岡元佑正・三軒谷勇貴・守倉正博・山本高至(京大)・布 房夫・杉山隆利(NTT)

RCS-19. 省電力無線 LAN のためのユーザ分布適応型ウェイクアップ方式に関する一検討 ○齊藤冬樹・四方博之(関西大)・阿部憲一(NEC 通信システム)・長谷川晃朗(ATR)

RCS-20. オンデマンド WiFi ウェイクアップのための受信レベル差分を用いたフレーム長検出法に関する一検討 ○難波耕佑・四方博之(関西大)・原 幸宏(NEC 通信システム)・湯 素華・木村貴寿(ATR)

RCS-21. 2.4 GHz 無線 LAN における隣接チャネル漏洩電力の

- キャリアセンス距離の測定法 ○大野義明・山本高至・  
守倉正博 (京大)・杉原智行 (フアイデリス)
- 27 日午前 RCS3 (第 4 会議室) (9:00~10:20)
- RCS-22. 飛び越し経路によるダイバーシチを考慮したマルチ  
ホップ伝送における周波数割り当てに関する検討  
○松野貴徳・木村和裕・宮崎寛之・山本哲矢・  
安達文幸 (東北大)
- RCS-23. マルチアンテナリレー環境下における適応変調割り当  
て直接・協調 DF リレー切り替え通信のスループット特性  
○木村和裕・小原辰徳・安達文幸 (東北大)
- RCS-24. アナログネットワーク符号化を用いる SC・OFDM ハ  
イブリッド双方向中継通信に関する一検討 ○宮崎寛之・  
小原辰徳・安達文幸 (東北大)
- RCS-25. マルチホップ無線通信における各種双方向協力中継方  
式の比較 ○西野博宣・周 虹 (阪工大)
- RCS4 (第 4 会議室) (10:30~12:10)
- RCS-26. Radio Resource Management for Coexisting Heteroge-  
neous WPANs ○Abolfazl Mehbodniya・  
Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- RCS-27. Development of Android Terminal Device in Informa-  
tion Sharing System for Disaster ○Tzuchieh Shen・  
Jairo Eduardo Lopez・Yo Na・Takuro Sato (Waseda Univ.)
- RCS-28. WSN を活用した農業環境予測と制御の応用研究  
○呉 昊・周 巍・佐藤拓朗 (早大)
- RCS-29. Zigbee ベースのデータ融合技術によるスマートグリッ  
ド分野の監視と制御の応用研究 周 巍・○呉 昊・  
佐藤拓朗 (早大)
- RCS-30. Low Complexity Synchronization Algorithm for  
802.11.4 ○Daoud Burghal・Loay Khalaf (UJ)
- 27 日午後 SR1 (第 4 会議室) (13:00~15:05)
- SR-31. [依頼講演] TV ホワイトスペース試算のための電波伝  
搬モデルについて ○大山哲平・下村剛史・  
関 宏之 (富士通研)
- SR-32. [依頼講演] コグニティブ無線のための MAC プロトコ  
ルの要素検討と統合シミュレータによる評価検討  
○田久 修 (信州大)・藤井威生・木村孝政 (電通大)・  
堀江駿太 (東京理科大)・後藤雅之 (信州大)
- SR-33. [依頼講演] 2.4GHz ISM 帯マルチシステム・マルチ  
チャネル PHY-MAC クロスレイヤシミュレータの開発  
○矢野一人・宇野雅博・小林 聖 (ATR)
- SR-34. [依頼講演] ホワイトスペースを用いた自律型車車間コ  
グニティブ無線システムの設計と開発—USRP を用いた実装—  
○塚本和也・吉村 力・安藤圭佑・鶴 正人・  
尾家祐二 (九工大)・藤井威生・大竹賢明・  
北村優行 (電通大)・吉武晃一 (ネットワーク応用技研)・  
アルトウンタシュ オヌル (トヨタIT 開発センター)
- SR-35. [Requested Talk] Performance of A Small Size Sensing  
Device Under Interference Produced by Secondary Users  
○Chunyi Song・Kentarō Ishizu・Hiroshi Harada (NICT)
- SR2 (第 4 会議室) (15:15~16:15)
- SR-36. ベースバンドにおける非線形性制御による送信機識別性  
能の向上 ○青木 慧・榎田洋太郎 (東京理科大)・  
田久 修 (信州大)
- SR-37. 非線形性を持つスペクトル検出器による広帯域の信号検  
出特性 ○小川俊喜・山下拓磨・榎田洋太郎 (東京理科大)・  
田久 修 (信州大)
- SR-38. クロック抽出による特徴検出を用いたスペクトルセンシ  
ング方式の特性評価 ○櫻井健大・梅比良正弘 (茨城大)
- RCS8 (第 4 会議室) (16:25~17:25)
- RCS-39. TV ホワイトスペース利用 LTE システムのためのイン  
タフェースに関する研究開発 ○伊深和雄・石津健太郎・  
村上 誉・松村 武・原田博司 (NICT)
- RCS-40. FDD/TDD 両方式を利用可能なホワイトスペース LTE  
に関する一検討 ○村上 誉・石津健太郎・伊深和雄・  
松村 武・原田博司 (NICT)・長谷川幹雄 (東京理科大)
- RCS-41. The accuracy in UWB localization for moving targets  
Thu Nguyen Thi Lieu (Waseda Univ.)
- RCS9 (第 5 会議室) (13:00~14:20)
- RCS-42. DFT-Precoded OFDMA における MMSE アルゴリズ  
ムを用いる繰り返し判定帰還チャネル推定のブロック誤り率特  
性 ○田中良和 (東京都市大)・川村輝雄・  
三木信彦 (NTT ドコム)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS-43. DFT-Precoded OFDMA における繰り返し判定帰還  
チャネル推定を用いたときの Distributed 送信と周波数スケ  
ジューリングを用いる Localized 送信の特性比較  
○美和啓太 (東京都市大)・川村輝雄・  
三木信彦 (NTT ドコム)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS-44. DFT-Precoded OFDMA における繰り返し判定帰還  
チャネル推定を用いる 16APSK のブロック誤り率特性  
○森 千尋 (東京都市大)・川村輝雄・  
三木信彦 (NTT ドコム)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS-45. DFT-Precoded OFDMA における適応アンテナ選択を  
用いるコードブックベースの送信ダイバーシチの特性評価  
○沼田英之 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコム)・  
田岡秀和 (ドコム欧州研)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS10 (第 5 会議室) (14:30~15:50)
- RCS-46. Intercarrier interference reduction of OFDM system  
with novel self-cancellation scheme  
○Thitapha Chanpokapaiboon・Takayuki Inoue・  
Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)
- RCS-47. Performance Comparison of Time-Domain and Fre-  
quency-Domain Single-Carrier Fractional Spread Spectrum  
Transmission ○Amnart Boonkajay・Tatsunori Obara・  
Tetsuya Yamamoto・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- RCS-48. IEEE802.11 無線 LAN における優先端末を保護する  
QoS 制御に関する一検討 ○新宅俊之・岸田 朗・  
岩淵匡史・阪田 徹 (NTT)
- RCS-49. 隠れ端末環境における無線 LAN アクセスポイント非  
予約型スリープ方式の特性評価 ○黄 俊翔・後藤弘明・  
秋元 守・飯塚正孝 (NTT)
- 28 日午前 RCS1 (第 3 会議室) (9:00~10:20)
- RCS-1. 狭帯域無線通信システムで AGC が受信機特性に与える  
影響を抑圧するアンテナ選択ダイバーシチ方式  
成枝秀介 (明石高専)
- RCS-2. Overlap FDE を用いる SC-FDMA 伝送のスループット  
特性 ○小原辰徳・安達文幸 (東北大)
- RCS-3. 下りリンク非直交多元接続における適応変調符号化を考  
慮したシステムレベル性能評価 ○齋藤祐也・  
ベンジャブール アナス・岸山祥久・中村武宏 (NTT ドコム)
- RCS-4. MIMO 下りリンクセルラでのランダムビームフォー  
ミングとビーム内 SIC を用いた非直交多元接続法におけるビ  
ーム間電力配分の一検討 ○林 雄太 (東京理科大)・



- 岸山祥久 (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)
- RCS2 (第3会議室) (10:30~11:50)
- RCS-5. 超高速ビットレート移動通信における 10 Gbps MIMO-OFDM 屋外伝送実験 ○須山 聡・福田裕之・高橋 満・鈴木 博・府川和彦 (東工大)
- RCS-6. 基地局間インタフェースを用いた隣接基地局間協調 MIMO のフィールド実証実験 ○生天目 翔・緒方大悟・星野兼次・長手厚史・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)
- RCS-7. X2 インタフェースを用いた基地局間協調送信におけるネットワーク制御アーキテクチャのフィールド実証評価 ○永井泰裕・張 亮・岡廻隆生・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)
- RCS-8. Achievable CoMP gain under non-Full buffer traffic in Heterogeneous Network ○Le Liu・Naoto Ishii (NEC)
- 28 日午後 特集セッション(1) (第3会議室) (13:00~14:45)
- 共通-9. [招待講演] クラウド連携ヘテロジニアスネットワークの展望 ○阪口 啓・三瓶政一 (阪大)
- 共通-10. [招待講演] センサネットワーク-M2M からクラウドコンピューティングへの具体的事例一 ○羽生 広・志村隆則 (日立)
- 共通-11. [招待講演] 複雑系コンピューティングとワイヤレスネットワーク 長谷川幹雄 (東京理科大)
- 特集セッション(2) (第3会議室) (14:55~18:00)
- 共通-12. [招待講演] ファントムセル-LTE Release 12 以降の Small Cell Enhancement一 岸山祥久 (NTT ドコモ)
- 共通-13. [招待講演] ネットワーク連携型 WiFi オフロードに関する研究 ○横田英俊・金 大善 (KDDI 研)
- 共通-14. [招待講演] 異種無線システム協調制御による周波数有効利用技術及び対応端末技術の研究開発 ○村上 誉・石津健太郎・宮本 剛・チャン ハグエン・フィリン スタニスラフ・船田龍平・原田博司 (NICT)・小川喜祥・中村 稔・飯島研一・勝間田賀章・西野 大・下飯坂圭馬・大谷和也 (NTTPC コミュニケーションズ)
- RCS-15. [特別招待講演] 無線通信の更なる発展を願って 吉田 進 (京大)
- 28 日午前 SR1 (第4会議室) (9:20~10:20)
- SR-16. Low Out of Band Emission with GFDM for Cognitive Radio TVWS Applications ○Rohit Datta・Gerhard Fettweis (TU Dresden)
- SR-17. Simulation analysis of the coverage and capacity of the IEEE 802.11af and 802.22 white space radio systems ○Stanislav Filin・Hiroshi Harada (NICT)
- SR-18. Utilizing multi-location option for the coexistence among TVWS devices ○Ha-Nguyen Tran・Gabriel Villardi・Zhou Lan・Hiroshi Harada (NICT)
- SR2 (第4会議室) (10:30~11:50)
- SR-19. 通信距離の観点から見た日本の TV ホワイトスペースの分析評価 ○石津健太郎・村上 誉・原田博司 (NICT)
- SR-20. 広帯域離散 OFDM による周波数有効利用の一検討 ○流田理一郎・長谷川晃朗・柴田達雄・大橋正良 (ATR)
- SR-21. 既存システムと新たなシステムの共存のための信号検出方式並びに基本特性の検討 ○櫻木勘四郎・定 知生・小峯敏彦・渡辺伸吾 (KDD 研)
- SR-22. 自律分散型無線システムにおけるアプリケーション品質を考慮したアクセス制御の一検討 ○大島浩嗣・矢野一人・宮坂朋宏・宇野雅博・小林 聖 (ATR)
- SRW1 (第5会議室) (8:55~10:10)
- SRW-23. ホワイトスペースワイヤレスユーティリティネットワーク : IEEE802.15.4m ○原田博司・児島史秀・Chin Cean Sum・船田龍平・Liru Lu・Mingtu Zhou (NICT)
- SRW-24. A Modified Saleh-Valenzuela Channel Model for 60 GHz Beam Tracking Systems in a NLoS Indoor Environment ○Lawrence Materum・Hirokazu Sawada・Tuncer Baykas・Shuzo Kato (Tohoku Univ.)
- SRW-25. Performance of 60 GHz Single Carrier Systems with a Modified Saleh-Valenzuela Channel Model ○Tuncer Baykas・Lawrence Materum・Hirokazu Sawada・Shuzo Kato (Tohoku Univ.)
- SRW-26. Laboratory and Field Performance Evaluation of a Modified Saleh-Valenzuela Channel Model ○Hiroyuki Nakase・Shigeru Yoshimiya・Yuki Shoji・Shuzo Kato (Tohoku Univ.)
- SRW2 (第5会議室) (10:20~12:00)
- SRW-27. IEEE802.11ad フレームジェネレータ MAC 開発 ○騰川雄裕・八木隆介・山本浩之 (日立 JTE)・羽生 広・柴垣信彦 (日立)
- SRW-28. IEEE802.22 における多次元符号化変調の適用 ○庭野浩武・佐々木重信 (新潟大)
- SRW-29. TV ホワイトスペース利用における周波数チャネルマネジメントに関する一検討(2) ○石井将司・木村長夫・佐々木重信 (新潟大)
- SRW-30. Propagation models considering antenna directivity in body area networks ○Ichirou Ida・Teruhisa Ninomiya (Fujitsu Labs.)
- 3月1日午前 RCS1 (第3会議室) (9:00~10:20)
- RCS-1. ヘテロジニアスネットワークを融合した基地局連携セルラネットワーク ○下平英和・タン ザ カン (東工大)・阪口 啓 (阪大)・荒木純道 (東工大)・小西 聡 (KDDI 研)・宮崎崎旭 (KDDI)
- RCS-2. Large Scale Cooperation in Cellular Networks with Non-uniform User Distribution ○Roya Rezagah・Daisuke Matsuo・Gia Khanh Tran (Tokyo Inst. of Tech.)・Kei Sakaguchi (Osaka Univ.)・Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)・Satoshi Konishi (KDDI Labs.)・Noriaki Miyazaki (KDDI)
- RCS-3. スモールセルの導入効果に関する一検討 ○伏木 雅・秋元陽介・小西 聡 (KDDI 研)
- RCS-4. 小規模連結セルで構成される仮想シングルセルの転送方式の比較 ○山田喬彦・西村俊和 (立命館大)
- RCS2 (第3会議室) (10:30~11:50)
- RCS-5. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN におけるアクセスポイント-端末間距離に基づく使用チャネル選択に関する一検討 ○天間克宏・松村祐輝・小原辰徳・山本哲矢 (東北大)・石原浩一・ヒランタ アペーセーカラ・熊谷智明 (NTT)・安達文幸 (東北大)
- RCS-6. チャネル棲み分けに基づく無線 LAN 動的チャネル配置に及ぼす非同期送信タイミングの影響に関する一検討 ○松村祐輝・天間克宏・小原辰徳・山本哲矢 (東北大)・石原浩一・ヒランタ アペーセーカラ・熊谷智明 (NTT)・安達文幸 (東北大)
- RCS-7. LTE 上りリンクにおけるセル間干渉を考慮した送信電力制御を用いたセル間干渉コーディネーション法の一検討

○樋口健一 (東京理科大)・斉藤佳子・中尾正悟 (パナソニック)  
RCS-8. フェージング環境下でのヘテロジニアスネットワーク  
下りリンクにおける自立分散型接続セル選択法

○小泉鉄之祐・樋口健一 (東京理科大)

RCS Express セッション (第3会議室) (11:50~12:20)

RCS-9. LTE-Advanced 上での端末間直接通信に関する一検討

○山崎智春・福田憲由・藤代真人・柏瀬 薦・童 方偉・  
守田空悟 (京セラ)

3月1日午後 RCS4 (第3会議室) (13:00~14:20)

RCS-10. 分散アンテナネットワークにおけるエネルギー利用効  
率に関する一検討

○嘉治英俊・熊谷慎也・天間宏克・  
小原辰徳・安達文幸 (東北大)

RCS-11. Asynchronous multi-user detection in distributed  
antenna network

○Wei Peng・

Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

RCS-12. マルチパスフェージング環境下モバイルカメラシステ  
ムにおける送信ダイバーシチと周波数ダイバーシチの組み合わ  
せ効果について

○木田直樹・宮坂浩平 (諏訪東京理科大)・  
野上昌男・多田俊一 (システックリサーチンク)・山口一弘・

松江英明 (諏訪東京理科大)

RCS-13. 既知のトレーニング系列を挿入したシングルキャリア  
ブロック伝送における高速フェージング環境下での最小2乗法  
による予測を導入したチャネル推定法

○山本哲矢・  
安達文幸 (東北大)

RCS5 (第3会議室) (14:30~15:50)

RCS-14. 送信ダイバーシチ用タイミング再生方式の検討

○中村亮介・能田康義・増田進二・平 明德・佐野裕康・  
石津文雄 (三菱電機)

RCS-15. インパルス性雑音の影響を低減した MIMO SC-FDE  
送受信機構成の検討

○都築宏昭・岩波保則 (名工大)

RCS-16. 進行数可変カオス MIMO 方式の多値変調化の検討

岡本英二 (名工大)

RCS-17. MIMO Interleaved SC-FDMA 繰り返し受信方式にお  
ける球内復号による演算量削減の検討

○森山真旭・  
岩波保則 (名工大)

RCS6 (第3会議室) (16:00~17:00)

RCS-18. 入力信号帯域幅に制限された情報を基に補償を行うブ  
リディストーション非線形補償の効果

○馬 岳林・  
山尾 泰・赤岩芳彦 (電通大)

RCS-19. 非線形増幅を伴うアップリンク OFDMA 信号の理論  
BER の導出法に関する検討

○西村 慶・竹淵翔矢・  
前原文明 (早大)

RCS-20. MIMO M-FSK 信号に対する ISI キャンセラーと MLD  
を用いた繰り返し信号分離検出方式

○山根勇一・  
岩波保則 (名工大)

3月1日午前 SR1 (第4会議室) (9:00~10:00)

SR-21. ベースバンド AGC 増幅器を備えたマルチバンド MIMO  
受信機におけるフィードバックループの不完全性推定法

○大田智也 (京大)・田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)

SR-22. 繰り返し干渉除去を用いた Fractional Sampling MISO-  
OFDM 受信方式による非直交マルチアクセス方式の一検討

○長田博行・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)

SR-23. TV ホワイトスペース利用 OFDM 通信システムにおけ  
る時間ウィンドウイング処理による帯域外輻射電力に関する一  
検討

○水谷圭一・船田龍平・原田博司 (NICT)

RCS3 (第4会議室) (10:10~11:50)

RCS-24. MIMO 伝送を利用した Collision detection—MAC プロ  
トコルにおけるアクセス制御方式の特性評価—

○平栗健史・後藤祐太郎・森野善明・小川知将 (日本工大)・  
堅岡良知・西森健太郎 (新潟大)

RCS-25. MIMO 伝送を利用した Collision detection—MIMO-  
OFDM 信号を用いた実験評価による干渉検出特性—

○堅岡良知・西森健太郎 (新潟大)・平栗健文 (日本工大)・  
牧野秀夫 (新潟大)

RCS-26. 遅延の広がり OFDM のガードインターバルを超え  
るマルチパス環境における最大比合成ダイバーシチ特性の等価  
伝送路モデルによる解析 [II] —SIMO から MIMO へ—

○鄭 篤仙・唐沢好男 (電通大)

RCS-27. マルチキャリア重畳伝送における誤り率に応じた残留  
電力算出による干渉波検出時間短縮法

○林 玄史・  
大槻知明 (慶大)・増野 淳・杉山隆利 (NTT)

RCS-28. Bayesian sparse channel estimation for clustered-  
sparse OFDM communication systems

○Guan Gui・  
Wei Peng・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

3月1日午後 RCS7 (第3会議室) (13:00~14:20)

RCS-29. 零点を有する 3次 $\Delta$ - $\Sigma$ 変調器を用いた ANC-EPWM  
送信法の特長

○岩城晃二・船橋鴻志・山尾 泰 (電通大)

RCS-30. MIMO OFDM 方式のチャネル測定による受信 BER 値  
の推定

○城 将人・岩波保則 (名工大)・山田良太・  
岡本直樹 (シャープ)

RCS-31. 車載モータからのインパルス性雑音のモデル化とノイ  
ズキャンセラによる OFDM 受信機の誤り率特性改善に関する  
検討

○新實一也・岩波保則 (名工大)・神谷有志・  
田中 誠 (デンソー)

RCS-32. An Estimation Algorithm of Channel State Transition  
Probabilities for PHY-Layer Sensing of Cognitive Radio  
Systems

○Fereidoun H. Panahi・  
Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)

RCS8 (第3会議室) (14:30~15:50)

RCS-33. モバイルアドホックネットワークにおける QoS を考慮  
した経路制御方式の一検討

○入山勇人・海沼義弘・  
内堀恭平・山口一弘・杉田 誠・松江英明 (諏訪東京理科大)

RCS-34. マルチパスフェージング環境下 OFDMA/TDD システ  
ムにおける QoS を考慮したスケジューリング方式の検討

○長橋崇晴・宮坂浩平・藤峰龍一・山口一弘・  
松江英明 (諏訪東京理科大)

RCS-35. Security Challenges in Network Coding: The case of  
the Diversity Problem

○Juan Corena・  
Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)

RCS-36. A Link-Based Network Coordinate System for Mobility

Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)

3月1日午前 CCS1 (第5会議室) (9:00~10:15)

CCS-37. コグニティブ無線におけるスペクトラムセンシングへ  
の Multi-Armed Bandit アルゴリズムの応用

○加藤智洋・  
長谷川幹雄 (東京理科大)

CCS-38. 無線ネットワークにおける圧縮センシングを用いたリ  
ンク品質情報収集手法の一検討

○須崎修平・岡田 啓・  
小林健太郎・片山正昭 (名大)

CCS-39. IEEE 802.11 に基づくモバイルアドホックネットワ  
ークにおけるネットワークの融合過程の把握

○小田 淳・  
西山英里・田中久陽 (電通大)

CCS2 (第5会議室) (10:30~11:50)

CCS-40. [招待講演] 複数センサ情報高効率収集—無線物理量への情報変換の活用— 藤井威生 (電通大)

CCS-41. [招待講演] 粘菌インスパイアド無線通信アルゴリズム 金 成主・青野真士 (理研)

3月1日午後 CCS3 (第5会議室) (13:00~14:15)

CCS-42. Schmitt Trigger 回路を利用した確率共鳴バイポーラパルス受信機の特性評価 ○千賀敬太・田中裕也・

山里敬也 (名大)・田所幸浩 (豊田中研)・荒井伸太郎 (香川高専)

CCS-43. 微弱なバイポーラパルスを対象とした確率共鳴受信機の誤り率の導出 ○田中裕也・千賀敬太・山里敬也 (名大)・

田所幸浩 (豊田中研)・荒井伸太郎 (香川高専)

CCS-44. UWB 最小二乗法位置推定における粒子群最適化法適用による計算量削減の検討 岡本英二 (名工大)

◎28日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。  
SRW 研究会:参加費無料, 資料代として一般 2,500 円, 学生 1,500 円

CCS 研究会:参加費無料 (予稿集を有料で販売致します)

☆RCS 研究会

**【問合せ先】**

ベンジャブール アナス (NTTドコモ)

E-mail: rcs\_ac-entry@mail.ieice.org

☆SR 研究会

**【問合せ先】**

矢野一人 (ATR)

TEL [0774] 95-1578, FAX [0774] 95-1508

E-mail: yano@m.ieice.org

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

☆SRW 研究会今後の予定

4月19日(金) 機械振興会館 テーマ: WLAN, WPAN 関連技術, 一般

6月17日(月) 富士通研武蔵中原地区 テーマ: WPAN, センサ関連技術, 一般

8月19日(月) 芝浦工大 テーマ: WLAN 関連技術, 一般

10月21日(月) NICT (YRP1 番館) テーマ: Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

12月16日(月) 東工大田町キャンパス テーマ: WLAN, WPAN 関連技術, 一般

3月6日(木) 早大 テーマ: 移動通信ワークショップ

**【発表申込・問合せ先】**

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail: sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は, SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

☆CCS 研究会

**【問合せ先】**

岡本英二 (名工大)

E-mail: okamoto@nitech.ac.jp

◎最新情報は, 当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ess/ccs/>

## ★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司

幹事 平野 章・斎藤恒聡

## ★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

## ★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会は併催, OPE 研究会は共催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 2月28日(木) 13:35~17:40

3月1日(金) 9:00~17:55

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

28日

共通-1. [招待講演] マルチコアファイバの接続技術

長瀬 亮 (千葉工大)

共通-2. [招待講演] マルチコア光ファイバの融着接続に関する検討 ○田中正俊・八若正義・藤巻洋介・平岡章宏・

谷口浩一 (三菱電線)

共通-3. [招待講演] マルチコアファイバとファンアウトのコネクタ接続 ○島川 修・佐野知巳・井上 享 (住友電工)

共通-4. [招待講演] 空間結合によるマルチコアファイバ接続技術 ○鳥取裕作・小林哲也・渡辺正行 (オプテクト)

共通-5. [招待講演] 空間多重技術を用いたマルチコア光増幅器 ○土田幸寛・前田幸一・忠隈昌輝・杉崎隆一 (古河電工)

共通-6. [招待講演] マルチコア光ファイバによる超大容量光伝送 ○久保田寛和・高良秀彦・佐野明秀・小林孝行・宮本 裕 (NTT)

共通-7. [招待講演] MC-EDFA 中継による7コア MCF 伝送路を用いた7×40×128 Gbit/s PDM-QPSK 信号の空間多重6,160 km 伝送 ○高橋英憲・釣谷剛宏 (KDDI 研)・

ル タヤンディエ ドウ ガボリ エマニュエル・

伊東俊治 (NEC)・ペン ウェイレン・五十嵐浩司・

森田逸郎 (KDDI 研)・土田幸寛・味村 裕・前田幸一・

齋藤恒聡・渡辺健吾・今村勝徳・杉崎隆一 (古河電工)・

鈴木正敏 (KDDI 研)

共通-8. [招待講演] MIMO 処理の負荷低減に向けた数モードファイバ ○坂本泰志・森 崇嘉・山本貴司・半澤信智・

山本彦彦 (NTT)

共通-9. [招待講演] 低群遅延差・大 Aeff を実現する2モード光ファイバの設計及び諸特性 ○丸山 遼・桑木伸夫・

松尾昌一郎・佐藤公紀 (フジケ)・大橋正治 (阪府大)

3月1日午前

OFT-1. 低曲げ損失光ファイバの MPI 測定条件に関する検討

○深井千里・中島和秀・五藤幸弘・齊藤浩太郎 (NTT)

OFT-2. 側方光入力技術を用いた心線対照器の検討

○廣田栄伸・川野友裕・真保 誠・納戸一貴・本田奈月・

真鍋哲也・東 裕司 (NTT)

OFT-3. 膨潤性ポリマによるクラッドモードのリーキー導波構造変換を用いたシングルモードファイバ型リモートガスセンサ

○二木優一・本間 聡・森澤正之・埜 雅典 (山梨大)

OFT-4. 半導体光増幅器による多チャンネル光波長変換を用いた光制御フェーズドアレイアンテナの制御法

○岩崎 航・松浦基晴・來住直人 (電通大)

OPE-5. 金属膜と傾きを持つ MMI 構造による偏波面分離素子の設計

小島啓介 (MERL)・○西川智志・柳生栄治 (三菱電機)・Wangqing Yuan・Bingnan Wang・秋濃俊昭・Kieran Parsons (MERL)

OPE-6. MMI (Multi Mode Interference) 型導波路を利用したマルチモード光源デバイス

○茶田 豊・趙 劉・佐藤雄太・浜本貴一 (九大)

OPE-7. 1xN 多モード光干渉導波路 (1xN-MMI) 型広帯域光透過フィルタの基礎検討

○池田和樹・濱森信康・浜本貴一 (九大)

3月1日午後 (14:00~)

OPE-8. 遠視野像逆フーリエ変換による光導波路端の電界分布計測方法の検討

○外菌裕仁・中島大介・陳 嬌・辻野美樹・浜本貴一 (九大)

OPE-9. Radiation Mode Analysis on Silica High-Mesa Waveguide for Infrared Absorption

○Jiao Chen・Hirohito Hokazono・Daisuke Nakashima (Kyushu Univ.)・Yasuaki Hashizume・Mikitaka Itoh (NTT)・Kiichi Hamamoto (Kyushu Univ.)

OPE-10. BOCDA 法による平面光回路内のプリルアン周波数シフト分布の測定

○渡辺隆嗣・保立和夫・岸 真人・何 祖源 (東大)

OPE-11. ブラッグファイバの断面楕円化による複屈折特性の解析

○谷口宏樹・左貝潤一 (立命館大)

OCS-12. 多ポート光符号・復号器と超構造ファイバブラッググレーティング光符号・復号器を用いた完全非同期 4 user × 40 Gbps OCDMA-PON による一心双方向伝送実験

○松本怜典・小玉崇宏 (阪大)・清水 智 (NICT)・野村隆次郎・大道浩児 (フジクラ)・和田尚也 (NICT)・北山研一 (阪大)

OCS-13. 高速イメージセンサを用いた列車地上間自由空間レーザー通信システムのビーム制御

○中村栄人・春山真一郎・大槻知明 (慶大)・松原 広 (鉄道総研)

OCS-14. モード多重伝送ファイバの収容チャンネル数の比較

○河面俊範・國分泰雄・小嶋恭平 (横浜国大)

OCS-15. マルチコアファイバ用ファイババンドルタイプファンアウトの開発 (2)

○渡辺健吾・斎藤恒聡・今村勝徳・椎野雅人 (古河電工)・長瀬 亮 (千葉工大)

OCS-16. 低クロストーク増幅方法を用いたマルチコア光ファイバ増幅器

○小野浩孝 (NTT)・山田 誠 (阪府大)・竹永勝宏・松尾昌一郎 (フジクラ)・阿部宜輝・鹿間光太・高橋哲夫 (NTT)

○2月28日の研究会終了後、懇親会を予定しています。後日、懇親会の参加アンケートをとりますので御協力下さい。

○3月1日 12:05~12:10, OFT 表彰を行います。

☆OCS 研究会

【問合先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail : tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS 研ホームページ : <http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では、2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月~翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し、翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS 研ホームページを御覧下さい。

☆OFT 研究会

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail : imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT 研究会では、2011 年 1 月より「奨励賞」, 「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので、積極的な御投稿をお願い致します。

◎選奨規定については、OFT 研ホームページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

☆OPE 研究会

【問合先】

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail : kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail : hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

## ——北海道支部における開催——

### ★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽濑裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也

幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

### ★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久

幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 2月18日 (月) 9:20~16:40

19日 (火) 9:20~16:00

会場 北海道大学大学院情報科学研究科 (札幌市北区北 14 条西 9 丁目。札幌市営地下鉄南北線 : 北 12 条駅下車徒歩 10 分。

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/access> TEL [011] 706-6077

長谷山美紀)

議題 ITS 画像処理, 映像メディア, 視覚及び一般

18日午前 メディア工学(1) (A21室) (9:20~10:50)

- 3Dオブジェクトを押し上げるタスクに対する視知覚位置予測技術の有用性評価 ○海野 浩・佐藤佑樹・鈴木雅洋・上平員丈(神奈川工科大)
- AR技術を用いたインテリア設計支援に関する一検討 ○山内 漠・村上伸一(東京電機大)
- 多数の表情顔から構築された3次元顔モーフィングモデルにもとづく新規人物の表情生成 ○天木稔江・渡邊ちさ・永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂(法政大)
- モーションキャプチャで得られる顔の動きを用いた動的な3次元顔表情の生成 ○永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂(法政大)

メディア工学(2) (A21室) (11:00~12:20)

- 加齢の影響が大きいGabor特徴成分を用いた顔画像からの年齢層の推定 ○浅水宏文・菅田幸希・稲葉善典・赤松 茂(法政大)
- 2次元顔画像に対する異なる印象判断時の眼球運動比較—停留点と停留時間の分析— ○丸山阿弓・松山 歩・中村夏子・稲葉善典(法政大)・伊師華江(仙台高専)・行場次朗(東北大)・赤松 茂(法政大)
- 弱教師あり学習による効率的な注目領域の検出と映像分類への応用 ○松村 憲(神戸大)・白浜公章(室蘭工大)・上原邦昭(神戸大)
- ジェスチャを用いた多人数操作型スライドインタフェース ○宮鍋克麻・高橋裕樹(電通大)

18日午後 メディア工学(3) (A21室) (13:20~14:40)

- 胃X線二重造影像を用いたHelicobacter pylori感染の識別に関する検討 ○吉崎 茜・桂井麻里衣・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- プログラマブルシェーダを用いた全周囲立体モニタのカメラ間輝度補正技術 ○清水誠也・水谷政美・鶴田 徹(富士通研)
- スーパーハイビジョン画像におけるHEVCとAVC/H.264との符号化性能比較 ○杉藤泰子・市ヶ谷敦郎・境田慎一(NHK)
- バイジャンネットワークを用いた除雪作業データの分析に関する検討 ○高橋信太郎・小川貴弘・長谷山美紀(北大)

画像工学(1) (A21室) (15:00~16:40)

- IE-13. 複雑な背景を持つカラー文書画像からの文字抽出 ○得地博之・石見洋祐・前田純治(室蘭工大)
- IE-14. カラー自然画像の大まかな領域分割アルゴリズムの検討 ○石倉尚弥・谷 岳人・前田純治(室蘭工大)
- IE-15. エッジ特性に基づいた適用的処理ウィンドウによる画素内挿手法 ○山口良平(成蹊大)・佐藤徹平(ANA)・和田直哉・村上仁己・小池 敦(成蹊大)
- IE-16. 注視モデルに基づく画像内の主要な物体の自動検出 ○石飛次郎・コー ユエンシュアン・前田純治(室蘭工大)
- IE-17. エッジを保存できる曲線近似を用いた画像拡大法 ○高橋奈穂美・亀田昌志(岩手県立大)

19日午前 メディア工学(4) (A21室) (9:20~10:40)

- 視聴動作から推定される関心度を用いた映像の推薦の高精度化に関する検討 ○白石哲夫・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- 歌謡番組における映像の構造に注目したシーン分割手法—顔認識のシーン分割精度に与える効果の検証— ○吉田 壮・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- ポピュラー音楽データベースにおけるトレンド検出に関する

- 検討 ○中西亮太・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- 音響特徴量に基づくクラシック音楽の分類に関する一考察 ○松野恵一・小川貴弘・長谷山美紀(北大)

メディア工学(5) (A21室) (11:00~12:20)

- 距離画像とHOG特徴を使った指文字認識に関する一検討 ○井上誠喜・金子浩之・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行(NHK)・長嶋祐二(工学院大)
- Active Appearance Modelを用いた作成表情画像による顔認識 ○小田亮介・上瀧 剛・内村圭一・平戸優一・牧岡 毅(熊本大)・里中孝美(熊本県立技短大)
- 道路映像中のシカ検出のための画像特徴量に関する検討 ○桂井麻里衣・長谷山美紀(北大)
- 葉の形状認識を用いた樹木の識別に関する一検討 ○高木一之・村上伸一(東京電機大)

19日午後 メディア工学(8) (A21室) (13:20~14:40)

- 弾性モデルを用いたサッカーの選手追跡に関する検討—新たなポテンシャルエネルギーの導入による高精度化— ○岩井和也・高橋 翔・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- 野球映像における投手のコンディション推定の高精度化に関する検討—投球動作及び投球結果を表す特徴量の改良— ○久保純貴・高橋 翔・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- ボール保持チームに注目したサッカー映像分割の高精度化に関する検討 ○大貫修平・高橋 翔・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- サッカー映像におけるパス可能領域の高精度な推定手法に関する検討—選手配置の時刻変化を導入した新たな評価関数の定義— ○高橋 翔・長谷山美紀(北大)

メディア工学(7) (A21室) (15:00~16:00)

- 映像検索結果の定量評価手法の応用に関する試み(1)—札幌市における実証実験を通じた映像検索システムの評価— ○山之内 豊・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- 特徴統合理論に基づく画像検索結果の提示法の評価—異なる提示法の比較による有効性の検証— ○小林克希・小川貴弘・長谷山美紀(北大)
- 犯罪捜査における足跡鑑定のための靴裏画像検索に関する検討 ○畠山泰貴・長谷山美紀(北大)

18日午前 ヒューマンインフォメーション (A24室) (9:20~10:40)

- Distance versus Time in Map Guidance Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)
- 点滅映像の不快感推定法の高精度化と高速化 蓼沼 眞(NHK)
- 無音動画中の歩行者の下肢の動き情報と面積変化に基づくDPマッチングを用いた歩行音の付加 ○金子英樹・小澤尚平・村山 淳(東京理科大)・平田幸広(諏訪東京理科大)・佐藤 誠(東工大)・原田哲也(東京理科大)
- [ポスター講演] 舞踊教育のための身体動作計測の実践と研究 川畑泰子(九大)
- 映像表現&コンピュータグラフィクス, 画像工学(1) (A24室) (11:00~12:20)
- 無視差臨場画像と二眼式ステレオ画像の見易さの評価 ○夏井伸隆・名手久貴・石川和夫(東京工芸大)・市原 裕・三宅信行・潮 嘉次郎(コソ)
- バーチャル聴覚ディスプレイを応用した視覚障害者の移動音源定位能力訓練の研究 ○中野稜允(東京工芸大)・

大内 誠・清野明日美・赤井澤博貴・  
小室和史(東北福祉大)・岩谷幸雄(東北学院大)・  
関 善一(産総研)・久米祐一郎(東京工芸大)

IE-7. 自由視点映像合成における境界領域画質向上の一手法

○竹内広太・草地良規・木全英明・小島 明(NTT)

IE-8. 単一固定カメラによる長期観測画像系列を用いた太陽光  
の入射角の変化に基づく屋外垂直平面向き推定 ○山村哲平・  
青木恭太(宇都宮大)

18日午後 画像工学(2)(A24室)(13:20~14:40)

IE-9. 携帯電話と画像マッチングを用いた位置特定手法—2種類  
の画像マッチング法の組み合わせによる精度の向上—

○伊藤裕志・小池 淳・村上仁己(成蹊大)

IE-10. 浮動小数点数表現されたHDR画像のための整数化ト  
ーンマッピング処理 ○室伏辰耶(首都大東京)・  
岩橋政宏(長岡技科大)・貴家仁志(首都大東京)

IE-11. 顕著性マップとポアソンレンディングを用いたテクス  
チャ合成画像符号化 ○吉野貴士・八島由幸(千葉工大)

IE-12. TotalVariation正則化に基づく複数の高周波画像の組合  
せによる単一画像での超解像 ○鶴崎裕貴・  
亀田昌志(岩手県立大)

ITS(1)(A24室)(15:00~16:20)

ITS-13. 屋内における無線LANによる位置推定に関する一検討  
○野田真吾・間邊哲也・長谷川孝明(埼玉大)

ITS-14. インフラ設置型歩行者ナビゲーションシステムが提供  
する案内文について ○劉 暢・長谷川孝明・  
間邊哲也(埼玉大)

ITS-15. クラウドコンピューティングにおけるユビキタス環境  
の実現 ○アヒメット タラット・  
安田 浩(東京電機大)・申 吉浩(兵庫県立大)

ITS-16. 車載向け後方測距システムのテクスチャ物体への適用  
○野波昌志(公立はこだて未来大)・戸田真志(熊本大)・  
長崎 健(公立はこだて未来大)・大塚 聡(ルネサスエレクトロニクス)

19日午前 ITS(2)(A24室)(9:20~10:40)

ITS-1. 車載カメラを用いたGLACに基づく高精度歩行者認識  
○渡邊章二・松島宏典(久留米高専)

ITS-2. 車載カメラを用いた多方向自転車認識 ○常数大弘・  
松島宏典(久留米高専)

ITS-3. 画像処理を用いた道路環境解析 ○伊波智亮・  
矢加部卓人・寺尾慎寿・松島宏典(久留米高専)

ITS-4. DPFにおけるPM計測のための3次元中性子トモグラ  
フィ法の開発 ○松島宏典(久留米高専)・  
川上拓朗(熊本大)・江崎昇二(久留米高専)・  
内村圭一(熊本大)・Cotton Jim(マクマスタ大)・  
Harvel Glenn(オタワ工科大)・Chang Jen-Shih(マクマスタ大)

ITS(3)(A24室)(11:00~12:20)

ITS-5. 道路補助標識内容の認識に特化した超解像処理  
○平野和弘・上瀧 剛・内村圭一・日高大貴(熊本大)

ITS-6. 列生成法とヒューリスティックスの併用による配送集荷  
経路問題の解決 ○加来佑一朗・内村圭一・上瀧 剛・  
大村悦彰・福本ゆり(熊本大)

ITS-7. 地図情報を考慮したドライバの眠気レベル推定  
○伊藤 潤・河中治樹・小栗宏次(愛知県立大)

ITS-8. 車載レンジセンサによる高速道路の長大トンネルの三次  
元モデリングと評価—高密度計測と絶対位置合わせ—  
○小野晋太郎・薛 亮・阪野貴彦・大石岳史・佐藤啓宏・  
池内克史(東大)

19日午後 画像工学(4)(A24室)(13:20~14:40)

IE-9. 検索基準時空画像の自動生成による類似プレイ検索の高  
精度化 ○吹場拓郎・青木恭太(宇都宮大)

IE-10. 正面顔映像から得られる瞳の動きによる心理状態推定  
○鶴見亮介・青木恭太(宇都宮大)

IE-11. デブス情報を不可視に埋め込む撮像法の検討  
○井坂彩瑛・海野 浩・上平員丈(神奈川工科大)

IE-12. 空間周波数特徴に基づく領域適応ブランドPSNR推定  
○糸川高広・甲藤二郎(早大)・和田直史(サマソ)

画像工学(5)(A24室)(15:00~16:00)

IE-13. 主観評価と画像特徴量の相関性評価に基づくブロック歪  
みのブラインド推定 ○若林雅大・甲藤二郎(早大)・  
和田直史(サマソ)

IE-14. 離散コサイン変換におけるDCT係数の符号情報保存に  
注目した高能率画像符号化  
○對馬直哉・亀田昌志(岩手県立大)

IE-15. サブバンド符号化の分割パターンと量子化器選択の最適  
化における性能改善 ○宮崎春彦・亀田昌志(岩手県立大)

◆映像情報メディア学会;ヒューマンインフォメーション研究  
会/メディア工学研究会/映像表現&コンピュータグラフィッ  
クス研究会連催

◎18日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。  
☆ITS研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

3月11日(月) 京大〔締切済〕テーマ:ITS情報処理,一般

【問合せ先】  
高取祐介(神奈川工科大学工学部電気電子情報工学科)

〒243-0292 厚木市下荻野1030  
TEL [046] 242-0030 (内線3365)

E-mail: takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

☆IE研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日  
3月11日(月), 12日(火) 福岡工大〔締切済〕テーマ:メ  
ディア・コミュニケーションの品質と福祉,及び一般(食メ  
ディア研究会協賛)

4月26日(金) 中大理工学部後楽園キャンパス [2月10日  
(日)] テーマ:画像処理・符号化及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】  
久保田 彰(中大)

E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

★電子デバイス研究会(ED)  
専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀  
幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

★シリコン材料・デバイス研究会(SDM)  
専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三  
幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 2月27日(水) 13:30~17:45  
28日(木) 9:00~12:10

会場 北海道大学百年記念会館(札幌市北区北9条西6丁目。  
JR:札幌駅下車,徒歩10分。http://www.hokudai.ac.jp/in  
troduction/campus/100th/ TEL [011] 706-3211(会場)  
葛西誠也)

## 議題 機能ナノデバイス及び関連技術

27日

- 〔招待講演〕 グラフェンにおけるバリスティック伝導・光電圧効果 ○町田友樹(東大/JST)・増淵 寛・大貫雅広・井口和之・森川 生・山口健洋・荒井美穂(東大)・渡邊賢司・谷口 尚(物材機構)
- 外部電圧印加に伴うキャリア注入による極薄 SOI 膜のゼーベック係数変化 ○池田浩也・鈴木悠平・三輪一聡(静岡大)・ファイズ サレ(静岡大/学振)
- 電気化学堆積法と電気泳動法による  $\text{Cu}_2\text{O}/\text{TiO}_2$  ヘテロ接合太陽電池の作製 ○加藤義人・市村正也(名工大)
- イオン注入による欠陥準位導入によってシリコン太陽電池の効率は改善するか ○柿原宏武・市村正也(名工大)
- Individual Dopant Nature in Si Lateral Nano-pn Junctions  
○Sri Purwiyanti・Arief Udhiarto (Shizuoka Univ./Univ. Indonesia)・Roland Nowak (Shizuoka Univ./Warsaw Univ. of Tech.)・Daniel Moraru・Takeshi Mizuno (Shizuoka Univ.)・Djoko Hartanto (Univ. Indonesia)・Ryszard Jablonski (Warsaw Univ. of Tech.)・Michiharu Tabe (Shizuoka Univ.)
- フレキシブルデバイス応用を目指したセルフスイッチング型ナノダイオードの整流特性 ○孫 屹・木村祐太・前元利彦・佐々誠彦(阪工大)・葛西誠也(北大)
- グラフェン 3 分岐接合デバイスの試作と論理回路応用の検討 ○殷 翔・葛西誠也(北大)
- Si 基板上に直接成長した極薄 InSb 膜をチャネルとした  $\text{Al}_2\text{O}_3/\text{InSb}$  MOSFET ○前澤宏一・伊藤泰平・角田 梓・中山幸二・安井雄一郎・森 雅之(富山大)・宮崎英志・水谷 孝(名大)
- InAs ナノワイヤの電界アシスト自己整合堆積プロセス ○船山裕晃・渡邊龍郎・道又賢司・村上 新・下村和彦・和保孝夫(上智大)

28日

- 室温動作単電子トランジスタと CMOS 1 bit アナログセレクタの集積化 ○鈴木龍太・野末喬城・更屋拓哉・平本俊郎(東大)
- 二重量子ドット Si 単電子トランジスタにおける電子数変化による特性評価 ○内田貴史・竹中浩人・吉岡 勇・有田正志(北大)・藤原 聡(NTT)・高橋庸夫(北大)
- 散逸要素を組み込んだ単一電子素子・単一磁束量子素子での間欠発振 水柿義直(電通大)
- 超伝導島電極を有する強磁性 SET における磁気抵抗比の極性とトンネル抵抗値の相関 ○滝口将志・守屋雅隆・島田 宏・水柿義直(電通大)
- SPM スクラッチ法を用いたナノスケール加工のグラフェンへの適用 ○須田隆太郎・齋藤孝成・吉田 卓(東京農工大)・Ampere A. Tseng (Arizona State Univ.)・白樫淳一(東京農工大)
- ジュール加熱されたグラフェンの近赤外イメージングによるその場温度測定 ○齋藤孝成・厚母息吹・須田隆太郎・伊藤光樹・白樫淳一(東京農工大)
- CNT 添加カーボンファイバの電気的特性 ○綿貫雄仁・田中 朋・佐野栄一・古月文志(北大)

◆応用物理学会共催

第一種研究会開催案内

◎27日研究会終了後、懇親会を予定しております。是非御参加下さい。

☆ED 研究会

【問合せ先】

須原理彦(首都大東京)

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三(パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

## ——東海支部における開催——

### ★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一

幹事 縄手雅彦・渡辺寛望・若月大輔

幹事補佐 酒向慎司・和田親宗・前田義信

日時 2月2日(土) 10:10~18:05

会場 名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町、名古屋駅からJR中央線:鶴舞駅下車徒歩約10分。http://www.nitech.ac.jp/access/index.html TEL [052] 735-7134 酒向慎司)

議題 福祉情報工学一般、地域コミュニティと福祉

- 臨床実習現場における中途視覚障害者向け電子カルテの評価実験 ○中村圭佑・鈴木香奈江・江崎修史(鳥羽商船高専)・伊藤和之(国立障害者リハビリテーションセンター)
- 立体コピー上の触知点記号の大きさ弁別に関する研究 ○田口寛樹・山口俊光・渡辺哲也(新潟大)
- 点字ディスプレイを用いた触覚ゲームの開発 ○松田雄祐・渡辺哲也(新潟大)
- 配色可変オンライン地図の開発とその評価 ○栗野真人・山口俊光・渡辺哲也(新潟大)

午後(15:00~)

- WebGLを用いた番組連動型手話CG生成システム ○金子浩之・馬場秋継・浜口斉周・道家 守・井上誠喜(NHK)
- コミュニケーション支援のための眼球動作入力音声合成インタフェースの研究 ○房 福明・篠崎隆宏・堀内靖雄・黒岩眞吾(千葉大)・古井貞照(東工大)・武者利光(脳機能研)
- 透明文字盤コミュニケーションを支援する機器の開発案件に関して 伊藤和幸(国立障害者リハビリテーションセンター)
- 3軸加速度センサを用いた車いすの移動経路推定法 ○村尾 真・西野隆典・成瀬 央(三重大)
- 簡易 FOX 送信機の作成と知的障害者の森林活動への利用—電波探知を取り入れた森林での探索型活動の実践— ○佐藤孝弘・菅野正人・棚橋生子(北海道林試)
- スマートフォンのためのヨガアプリケーションによるリラクゼーションと目覚めの効果 ○菅野正嗣・上野真実(阪府大)
- 遠隔地の吃音指導のニーズと合成音声を用いた在宅訓練の提案 ○小山内筆子・小山智史(弘前大)

◆名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センタ共催

◎13:00~14:50に企画セッションとしてコミュニティ工学アワード選考会・発表会(仮)を行います。

☆WIT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

告 15

3月11日(月), 12日(火) 福岡工大〔締切済〕テーマ:メ  
ディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び一般(食メ  
ディア研究会協賛)

**【問合先】**

酒向慎司(名工大)  
TEL & FAX [052] 735-7134  
E-mail: s.sako@nitech.ac.jp

**★信頼性研究会 (R)**

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏  
幹事 馬渡宏泰・田村信幸  
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

**★機構デバイス研究会 (EMD)**

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕  
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 2月15日(金) 13:35~16:20  
会場 住友電装(四日市市西末広町1-14. <http://www.sws.co.jp/corporation/map/honsha.html> TEL [059] 382-8634 服  
部康弘(オートネットワーク技研))

**議題 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般**

1. 接点内を流れる電流の可視化及び薄膜が集中抵抗に与える影  
響 ○澤田 滋・筑地茂樹(三重大)・島田茂樹(住友電工)・  
玉井輝雄(エルコンテック)・服部康弘(オートネットワーク技研)
2. 異種金属接点における微摺動摩擦特性 ○山中拓哉・  
伊藤哲也・服部康弘(オネット研)
3. 交流インピーダンス測定による錫酸化皮膜の電気特性  
○伊藤大和・飯田和生・澤田 滋・清水 敦(三重大)・  
服部康弘(オートネットワーク技研)
4. 日本における TOW の算出に用いる年平均気温及び相対湿度  
の確率分布に関する研究 ○外間正浩・澤田 孝(NTT)
5. 疑似ジャイレータを用いた中波帯アイソレータの研究  
若井一顕(第一工大)
6. 光通信用光学接着剤の信頼性の研究—シアンフリー&シラン  
変性タイプ光学接着剤の高耐湿性特性— ○三田地成幸・  
伊藤彰人(東京工科大)・木村和資(横浜GM)

◆継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN,  
IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催. 日本信頼性学会  
協賛

☆R 研究会

**【問合先】**

田村信幸(法政大)  
TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126  
E-mail: tamura@hosei.ac.jp

☆EMD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
3月1日(金) 日本工大宮代キャンパス〔締切済〕テーマ:  
卒論・修論特集(ショートノート)

**【問合先】**

関川純哉(静岡大)  
TEL & FAX [053] 478-1618  
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp  
久我宣裕(横浜国大)  
TEL & FAX [045] 339-4279  
E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘(住友電装)  
TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591  
E-mail: yasuhiko-hattori@gate.sws.co.jp  
阿部宜輝(NTT フォニクス研究所)  
TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421  
E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい.

**★音声研究会 (SP)**

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒  
幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 2月28日(木) 11:00~17:00  
3月1日(金) 9:20~14:20  
会場 大同大学(名古屋市南区滝春町10-3. <http://www.daido-it.ac.jp/access/index.html> 柘植 覚)

**議題 音声アプリケーション, 一般**

- 28日午前 オーガナイズドセッション(一般講演)
1. エージェントによるユーザ特性の把握が愛着感及び対話継続  
欲求に与える影響 ○小川義人・原田花歩・菊池英明(早大)
  2. Automatic Speech Emotion Recognition Based on Dimensional  
Approach ○Reda Elbarougy・Masato Akagi (JAIST)
- 28日午後 フェロー記念講演(13:20~)
3. [フェロー記念講演] 大規模コーパスを利用した信号処理の  
研究 武田一哉(名大)
- オーガナイズドセッション(招待講演)
4. [招待講演] 非言語情報を基にした過信状態検出の検討—振  
り込め詐欺誘引通話の検出— ○松尾直司・早川昭二・  
原田将治(富士通)・武田一哉(名大)・降旗喜和男(警察庁)
- オーガナイズドセッション(パネルディスカッション)
5. 話者認識技術の現状と課題 ○網野加苗(科警研)・  
石原俊一(オーストラリア国立大)・小川哲司(早大)・  
長内 隆(科警研)・黒岩真吾(千葉大)・越仲孝文(NEC)・  
篠田浩一(東工大)・柘植 覚(大同大)・  
西田昌史(同志社大)・松井知子(統計数理研)・  
王 龍標(長岡技科大)

3月1日午前 学生ポスターセッション

1. [ポスター講演] 二項事後分布の継承と W-B 平滑化に基づ  
く音声認識のための言語モデル ○吉田正太郎・  
川端 豪(関西学院大)
2. [ポスター講演] 文末表現の違いを考慮した感情音声合成  
○幸 孝明・鈴木基之(阪工大)
3. [ポスター講演] スーパーベクトルと SVR に基づく MtF 話  
者のための女声度推定 ○王 程碩・鈴木雅之・  
峯松信明(東大)・櫻庭京子(獨協医科大学)・  
広瀬啓吉(東大)
4. [ポスター講演] 対話音声合成の自然性とパラ言語情報の再  
現性に対する話者正規化学習の効果 ○高橋俊介・  
森 大毅(宇都宮大)
5. [ポスター講演] 拍位置を考慮した和音 bigram に基づく和  
声推定 ○平内雄基・森 大毅(宇都宮大)
6. [ポスター講演] 自己相関係数を韻律特徴量としたアクセ  
ント型の識別 ○大西悠介・中井 満(富山県立大)
7. [ポスター講演] マルチモーダル音声区間検出における識別



- 手法の比較に関する研究 ○奥田博也・田村哲嗣・  
速水 悟 (岐阜大)
8. [ポスター講演] ATR 音声データベース C セットの文章音  
声の個人性類似度 ○川元広樹・北村達也 (甲南大)
- 一般講演(1)
9. 日本語韻律教育の支援を目的とした web 辞書と読み上げ  
チューターの開発 ○峯松信明・中村新芽・  
鈴木雅之 (東大)・平野宏子 (吉林外学院)・  
中川千恵子 (早大)・中村則子 (慶大)・田川恭識 (早大)・  
橋本浩弥・廣瀬啓吉 (東大)
10. Speaker-based pronunciation clustering of World Englishes  
based on pronunciation structure analysis  
○Han-Ping Shen (NCKU)・  
Nobuaki Minematsu (Univ. of Tokyo)・  
Chung-Hsien Wu (NCKU)

3月1日午後 一般講演(2)

11. 識別モデルを用いた英文読み上げ音声からの強勢自動検出  
○加藤集平・鈴木雅之・峯松信明・広瀬啓吉 (東大)・  
山内 豊 (東京国際大)・西川 恵 (東海大)
12. Classification of speech under stress using physical features  
based on two-mass model ○Xiao Yao (Nagoya Univ.)・  
Takatoshi Jitsuhiro (AUT/Nagoya Univ.)・  
Chiyoumi Miyajima・Norihide Kitaoka・  
Kazuya Takeda (Nagoya Univ.)

◎3月1日14:00~14:20, 学生ポスター賞表彰式を行います。

【問合先】

鈴木基之 (阪工大)  
E-mail: moto@m.ieice.org

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二  
幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 3月8日(金) 13:05~17:30

会場 名古屋大学 IB 電子情報館北棟 8 階 IB-081 講義室 (名古屋  
市千種区不老町。JR 名古屋駅より約 20 分, 地下鉄名城線:  
名古屋大学下車, 3 番出口から徒歩 2 分。http://www.engg.  
nagoya-u.ac.jp/access/campusmap.html TEL [052] 789-  
3303 岩田 聡)

議題 光記録, 一般

1. 固体浸レンズを用いた薄型光ディスクへの高密度記録  
○小出大一・梶山岳士・佐藤龍二・徳丸春樹 (NHK)・  
高野善道 (NHK-ES)・大石 潔 (長岡技科大)
- MR-2. プラズモニック導波路及び高密度光直接記録用プラズモ  
ンアンテナの検討 ○田村京介・芦澤好人・大貫進一郎・  
中川活二 (日大)
- MR-3. アパーチャーレス型走査型近接場光学顕微鏡の偏光特性  
—10 nm の空間分解能を有する磁気イメージングを目指して—  
○孟 倩文・青柳光春・蔡 永福・塩田達俊 (長岡技科大)・  
江本顕雄 (産総研)・小野浩司・石橋隆幸 (長岡技科大)
- MR-4. 透過型及び反射型記録を併用したホログラムメモリにお  
ける三次元シフト多重記録特性 小澤高平・○倉田博之・  
山本桂子・山本 学 (東京理科大)
- MR-5. 磁気光学 3 次元ディスプレイによる計算機ホログラム像  
の再生 ○中村和樹・江藤 優・高木宏幸・林 攀梅・

第一種研究会開催案内

- 井上光輝 (豊橋技科大)
- MR-6. TGG と PZT を用いたマルチフェロイックフォトリック  
結晶の開発 ○磯谷亮介 (豊橋技科大)・  
Alexander M. Grishin・Sergiy I. Khartsev (KTH)・  
高木宏幸・井上光輝 (豊橋技科大)
- MR-7. TbFe 垂直磁化膜をメモリー層とした磁気トンネル接合  
の熱アシスト磁化反転 ○藤澤佑樹・吉川大貴・加藤剛志・  
岩田 聡 (名大)・綱島 滋 (名古屋産業科学研)
- MR-8. 狭 Gap 対応 Trilayer ヘッドの最適デザインとパフォー  
マンス ○磯脇洋介・高岸雅幸・岩崎仁志・橋本 進 (東芝)
- MR-9. (100) 立方晶単結晶基板上にエビタキシャル成長した 3d  
強磁性遷移金属薄膜の構造解析 ○大竹 充・  
二本正昭 (中大)
- MR-10. CoB/Ni 磁性細線における電流磁壁駆動 ○栗野博之・  
ドク テンゴ (豊田工大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連  
催, 電気学会; フォト・スピントロニクス技術調査専門委員会  
併催, IEEE Mag. Soc. Nagoya Chapter 併催

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

◎最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい。

http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html

— 関西支部における開催 —

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治  
幹事 森山甲一・片上大輔

日時 2月18日(月) 9:20~16:50

会場 大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパス (寝屋川市初町  
18-8。http://www.osakac.ac.jp/institution/access.html  
TEL [073] 457-8441 吉野 孝 (和歌山大))

議題 言語グリッドと異文化コラボレーション

1. 旅行レビューの注目キーワードに関する日中比較  
○羽東康之・呉 一江・嶋村和樹・竹内和広 (阪電通大)
2. Wikipedia Infobox から抽出した多言語属性情報の分析  
○胡 寅駿・林 良彦 (阪大)
3. Wikipedia を用いた文化差検出における誤検出語句の分析  
○諏訪智大 (和歌山大)・宮部真衣 (東大)・  
吉野 孝 (和歌山大)
4. 学生の文理選択に関するアンケートからの知識獲得  
○野津田雄太・高橋健一 (広島市大)
5. 知識状態の変化を利用したクイズロボット—文化的多様性と  
普遍性— ○藤田理遠・福島三穂子・山崎敬一 (埼玉大)・  
山崎晶子 (東京工科大)・池田佳子 (関西大)・小林貴訓・  
久野義徳・大山貴也・吉田恵梨 (埼玉大)・  
森本郁代 (関西学院大)・Matthew Burdelski (阪大)
6. 日本人のカンファレンスコール参加を楽にする手法の提案  
○山下直美 (NTT)・アンディ エチエニーク (カリフォルニア大)・  
石田 亨 (京大)
7. Interactivity Modeling for Machine-Translation-Mediated  
Communication ○Chunqi Shi・Donghui Lin・  
Toru Ishida (Kyoto Univ.)
8. 多言語用例対訳の収集及び利用システムの構築  
○福島 拓・吉野 孝 (和歌山大)

告 17

9. 多言語対話支援システムの用例検索ログを利用した用例作成手法の提案 ○尾崎 俊・福島 拓・吉野 孝 (和歌山大) 午後

10. ゲーミング環境を利用した多言語サービスマネジメント ○中島 悠 (京大)・菱山玲子 (早大)・林 冬恵 (京大)

11. 自発的な会話タグ付与を促進する多言語ゲーミングシステム ○野瀬泰史・菱山玲子 (早大)

12. 多言語用例対訳評価におけるエンタテインメント要素の作業精度への影響 ○狩野 翔・福島 拓・吉野 孝 (和歌山大)

13. 日本在住外国人・自治体への相乗的活性化を目的とした防災支援システムの提案 ○三戸 誠・菱山玲子 (早大)

14. 大学教育における異文化間の教育実践の課題と展望—関西大学の実践を事例として— ○山本良太・久保田賢一 (関西大)

15. 多言語ケーススタディシステムによる異文化分析 ○照井賢治・菱山玲子 (早大)

16. 翻訳連携サービスにおける書換えサービスの評価 ○山口卓郎・菱山玲子 (早大)・北川大輔・中島 悠・稲葉利江子・林 冬恵 (京大)

17. 統計的機械翻訳の特性を考慮した翻訳リペア支援システムの提案 ○東 拓央 (和歌山大)・宮部真衣 (東大)・吉野 孝 (和歌山大)

18. 語彙概念の異言語間対応付けにおける機械翻訳の有用性 林 良彦 (阪大)

19. 翻訳精度評価における原文参照の影響分析 ○宮部真衣 (東大)・吉野 孝 (和歌山大)

20. 翻訳前編集パターンの分析—ベトナム農業支援プロジェクトを事例として— ○稲葉利江子・北川大輔 (京大)・菱山玲子 (早大)

◆大阪電気通信大学情報学研究施設共催。異文化コラボレーション研究会協賛

#### 【問合先】

AI 研究会幹事

E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

### ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫

幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

日時 2月21日(木) 9:30~17:40

22日(金) 9:00~17:10

会場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(堺市中区学園町1-1。南海高野線:白鷺駅下車,徒歩約6分。南海高野線:中百舌鳥駅下車,徒歩約13分。地下鉄御堂筋線:なかもず駅(5号出口)から徒歩約13分。南海高野線:中百舌鳥駅/地下鉄御堂筋線:なかもず駅から南海バス(北野田駅前行31, 32, 32-1系統)で約5分,「府立大学前」下車。南海本線:堺駅から南海バス(北野田駅前行31, 32, 32-1系統)で約24分。JR阪和線/南海高野線:三国ヶ丘駅から南海バス(北野田駅前行31, 32, 32-1系統)で約14分,「府立大学前」下車。関西国際空港から南海バス(関西空港リムジンバス)で「中もず駅前(北側)」まで約63分,南海バス(北野田駅前行31, 32, 32-1系統)に乗り換えて約5分,「府立大学前」下車。http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html#nakamozu http://www.osakafu-u.ac.jp/data/open/cnt/3/1612/1/knakamozu\_map\_n.pdf 黄瀬浩一)

告 18

### 議題 大規模データベースとパターン認識

21 日午前 テーマセッション1 (9:30~11:30)

1. 空撮画像との対応点情報を用いたモバイルカメラの位置・姿勢推定手法 ○鳥屋剛毅・北原 格・大田友一(筑波大)

2. 3次元点群からの局所形状分類による柱状物体検出

○新垣 仁・島村 潤・谷口行信・新井啓之 (NTT)

3. オクルージョン境界検出のための3次元構成のトピック化

○村崎和彦・数藤恭子・谷口行信 (NTT)

4. SNSを利用したトピックモデルによる画像へのユーザ嗜好性の解析 ○片岡香織・木村昭悟・村崎和彦・数藤恭子・谷口行信 (NTT)

一般セッション1 (9:30~11:30)

5. 異方形拡散制約とTV正則化に基づく再構成型超解像

○柴田剛志・池谷彰彦・仙田修司 (NEC)

6. MR技術のための既存映像からの人物作成 ○竹田智哉・大石岳史(東大)・阪野貴彦(産総研)・池内克史(東大)

7. 3Dモデル探索のための形状アラインメント ○松本清吾・福井和広(筑波大)

8. 距離空間ピラミッドを用いたLLCによる3次元物体認識

○堀 貴博・滝口哲也・有木康雄(神戸大)

21 日午後 特別講演1 (13:00~13:50)

9. [特別講演] 大規模ニュース映像アーカイブの解析と応用

井手一郎(名大)

テーマセッション2 (14:00~16:00)

10. 自己増殖型ニューラルネットワークを用いた高次元ノンパラメトリック確率密度推定 ○高橋大志・中村圭宏・長谷川 修(東工大)

11. HDDを用いた省メモリK-meansクラスタリング

○大池洋史・岸 和芳・和田俊和(和歌山大)

12. ノイズ環境下における高速オンライン多変量ノンパラメトリック密度推定法 ○中村圭宏・高橋大志・長谷川 修(東工大)

13. 空間インデクシングに基づく距離推定を用いた高速かつ省メモリな近似最近傍探索手法—大規模データベースを対象とするアプリケーションの実用化に向けて— ○佐藤智一・岩村雅一・黄瀬浩一(阪府大)

一般セッション2 (14:00~16:00)

14. 計算されるビジュアル・聴覚的フィードバックに基づくグラスピング支援方法—視覚障害者の支援に向けて— ○成 飛・ヒルド ミヒヤエル(阪電通大)

15. Kinectを白杖に搭載したシステムによる物体認識と性能評価 ○山口翔太郎・滝沢徳高・青柳まゆみ(筑波大)・江崎修央(鳥羽商船高専)・水野慎士(愛知工大)

16. 誘目性を活用した画像加工による注視誘導 ○萩原愛子(千葉大)・杉本晃宏(NII)・川本一彦(千葉大)

17. 人の会話中における「話したい/聞きたい」表情認識 ○渡辺雄一・深津大輔・武川直樹(東京電機大)

ポスターセッション (16:10~17:40)

18. [ポスター講演] ラベルの無い領域を用いたActive-Learningと大腸内視鏡NBI画像診断 ○田辺大地・玉木 徹・ライチエフ ビセル・金田和文・吉田成人・竹村嘉人・蔭地啓子・宮木理恵・田中信治(広島大)

19. [ポスター講演] 時間相関イメージセンサを利用する実時間高密度オプティカルフロー算出の試み ○大石 剛・北川智裕・本谷秀堅(名工大)

20. [ポスター講演] 独立成分分析によるSKモデルの解析

- 1RSB 相の場合— ○佐藤賢昭・井上真輝 (早大)
21. [ポスター講演] 三角形特徴を用いた部分形状検索  
○武井宏将・山名早人 (早大)
22. [ポスター講演] 複数パスを考慮した Regression Forests によるカメラのヨー角の推定 ○若山涼至・藤吉弘亘 (中部大)
23. [ポスター講演] 円の Hough 変換を用いる顔画像からの特徴点検出  
○吉澤雄也・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)
24. [ポスター講演] 部分空間法を用いた動画の索引付けに関する検討  
○田中福嗣・堀田政二 (東京農工大)
25. [ポスター講演] 正面顔画像からの両目検出の GPGPU を用いた高速化  
○岩佐隼斗・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)
26. [ポスター講演] 部分空間法を用いたアピランスペースの実環境文字認識  
○比嘉恵介・堀田政二 (東京農工大)
27. [ポスター講演] 圧縮センシングを用いた指差し呼称時の腕振り動作認識に関する研究  
○岩崎正裕・藤波香織 (東京農工大)
28. [ポスター講演] 文字情報を高精細に伝送するための画像圧縮法  
○兼子翔太・菅谷至寛・大町真一郎 (東北大)
29. [ポスター講演] 文字認識補助のための色情報を用いた文字パターンへの情報埋め込み  
○奥木翔平・菅谷至寛・大町真一郎 (東北大)
30. [ポスター講演] 車載ステレオカメラを用いた色飽和を考慮した交通信号灯認識  
○茂泉拓紀・菅谷至寛 (東北大)・大町方子 (仙台高専)・大町真一郎 (東北大)
31. [ポスター講演] 携帯端末の格納場所情報を用いた行動認識手法最適化に関する研究  
○太田和也・岩崎正裕・藤波香織 (東京農工大)
- 22 日午前 テーマセッション 3 (9:00~10:30)
1. 物体間の特徴量の差異への重み付けに基づく類似物体認識  
○今津英貴・岩田 基・黄瀬浩一 (阪府大)
2. 1 億ページのデータベースを対象とした大規模文書画像検索  
○竹田一貴・黄瀬浩一・岩村雅一 (阪府大)
3. 距離計算を行わない近似最近傍探索アルゴリズム: Grafting Trees  
○大谷洋平・大池洋史・和田俊和 (和歌山大)
- 一般セッション 3 (9:00~10:30)
4. Variational Computation of Mean Shape  
○Shun Inagaki・Atsushi Imiya (Chiba Univ.)・Hidekata Hontani (Nagoya Inst. of Tech.)・Shouhei Hanaoka・Yoshitaka Masutani (Univ. of Tokyo)
5. 状態継続長制御に基づいた拡張分離型格子 HMM による変動に頑健な画像認識  
○牧野貴也・高木信二・橋本 佳・南角吉彦・徳田恵一 (名工大)
6. 変分ベイズ法を用いた可変固有画像モデルに基づく画像認識  
○沢田 慶・橋本 佳・南角吉彦・徳田恵一 (名工大)
- 特別講演 2 (10:40~11:30)
7. [特別講演] 大規模マルチメディア解析コーパスとしての social curation の可能性  
木村昭悟 (NTT)
- 22 日午後 特別講演 3 (13:00~13:50)
8. [特別講演] スマートポスターボード: ポスター発表における場のマルチモーダルなセンシングと認識  
河原達也 (京大)
- テーマセッション 4 (14:00~15:30)
9. ビデオクリップスコアと GMM supervector を用いた映像のセマンティックインデクシング  
○井上中順・篠田浩一 (東工大)

10. Semantic Video Concept Detection Using Subspace Partition based Scheme  
○Yongqing Sun・Kyoko Sudo・Yukinobu Taniguchi (NTT)
11. カメラの動き補正に基づく時空間特徴量と GMM supervector を用いた映像からのイベント検出  
○上嶋勇祐・井上中順・篠田浩一 (東工大)
- テーマセッション 5 (14:00~15:30)
12. ユーザの嗜好に基づく味データの学習クラスタリング  
○高野太吾・佐藤仁樹 (公立はこだて未来大)
13. 複数の系列間における系列個数に依存しない類似系列区間の検出—Circle 連続 DP の提案—  
岡 隆一 (会津大)
14. 非線形時系列予測のための基底関数構築  
○塚田将太・佐藤仁樹 (公立はこだて未来大)
- テーマセッション 6 (15:40~17:10)
15. 局所特徴量の大规模照合に基づく物体インスタンスの検索—TRECVID2012 Instance Search タスク参加報告—  
○阪田智大・的崎伸彰・黄瀬浩一・岩村雅一 (阪府大)
16. 画像をクエリとしたインスタンス映像検索  
○村田真哉・永野秀尚・向井 良・柏野邦夫 (NTT)・佐藤真一 (NII)
17. 視覚特徴及びタグ共起を用いた大規模 Web ビデオショットランキング  
○Do Hang Nga・柳井啓司 (電通大)
- 一般セッション 4 (15:40~17:10)
18. 魚眼カメラを用いた歩行者自動検出システムの GPU による高速化  
○北口勝久・齊藤 守 (阪市工研)
19. 複数の不可視光源による歩行者の影を用いた個人識別—見えの変化に対する頑強性の向上—  
○内野康司・岩下友美・倉爪 亮 (九大)・Adrian Stoica (ジェット推進研)
20. An Embedded Background Modeling Method for Detecting Object Left Behind and Very Still Person  
○Thi Thi Zin・Hiromitsu Hama・Takashi Toriu・Pyke Tin (Osaka City Univ.)
- ☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
3 月 14 日 (木), 15 日 (金) 電通大 [締切済] テーマ: 文字・文書の認識と理解及びアルゴリズム・システム評価
- 【問合せ先】  
PRMU 研究会幹事  
E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

—九州支部における開催—

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一  
幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎  
幹事 吉村直子・廣瀬貴史

◎本研究会は SANE 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 2 月 21 日 (木) 13:00~19:00  
22 日 (金) 9:00~15:35

会場 沖縄県青年会館 (那覇市久米 2-15-23. 沖縄都市モノレール「ゆいモノレール」: 旭橋駅から徒歩 8 分. <http://www.oki>)

議題 衛星応用技術及び一般

21 日

SAT-1. 災害時に簡易な操作で設置が可能な小型地球局 (VSAT) の研究開発—地球局設置作業の簡素化を実現するための課題とその解決— ○笹沼 満・内山 浩・名古屋 翼・古川 操・本久貴志 (スカパーJSAT)

共通-2. 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発(1)—研究開発のねらい— ○末松憲治 (東北大)・小熊 博 (富山高専)・笹沼 満 (SJC)・江口 茂 (ISB)・黒田幸明 (CCI)

共通-3. 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発(2)—マルチモード小型地球局の利用法の検討—

○上野 晋 (CCI)・末松憲治・亀田 卓・高木 直・坪内和夫 (東北大)・中根秀樹・吉川憲昭 (CCI)・小熊 博 (富山高専)・内山 浩 (SJC)

共通-4. 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発(3)—マルチモード小型地球局の制御方式の検討—

○中根秀樹 (CCI)・末松憲治・亀田 卓・高木 直・坪内和夫 (東北大)・木戸参二・青木 誠 (CCI)・内山 浩 (SJC)

共通-5. 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発(4)—マルチモード小型地球局の衛星回線設計法の検討—

○藤木孝司 (CCI)・末松憲治・亀田 卓・高木 直・坪内和夫 (東北大)・吉川憲昭・青木 誠 (CCI)・内山 浩 (SJC)

SAT-6. 衛星波遮断対策のためのレイヤ3ダイバシティスイッチのバケット処理高速化に関する検討 ○中平勝也・杉山隆利 (NTT)・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

SAT-7. 衛星地球局用可搬アンテナへの分散アレー技術適用に関する実験検証 ○鈴木義規・須崎皓平・廣瀬貴史・杉山隆利 (NTT)

SAT-8. 船舶衛星通信における船体からの回折波が他衛星の受信強度に及ぼす影響の検討 ○青柳貴洋 (東工大)・須崎皓平・鈴木義規・廣瀬貴史・杉山隆利 (NTT)

SAT-9. LDPC 符号を用いた集合分割 8PSK 符号化変調の性能改善に関する一検討 ○鈴木陽一・橋本明記・松崎敬文・田中祥次・木村武史 (NHK)

SANE-10. 簡易衛星・地上局シミュレータの開発 (第三報) 永松弘行 (JAXA)

SANE-11. MIMO セキュリティセンサを用いた屋内侵入検出システムの検出性能に関する検討 ○小川 研・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)

SAT-12. Semantic Self-Organizing Map for Natural Disaster News ○Carlos Enrique Gutierrez・

Mohammad Reza Asharif・Shiro Tamaki・He Cuiwei (Univ. of the Ryukyus)・

Katsumi Yamashita (Osaka Prefecture Univ.)・Rafael Villa (InterAmerican Development Bank)・

Miyagi Hayao (Univ. of the Ryukyus)

SAT-13. [特別講演] ICT を活用した畜産分野における情報管理システムの開発—生産者支援と、食の安心安全を訴求するトレーサビリティシステム— ○平田哲兵・玉城史朗 (琉球大)

22 日

SAT-1. A New Robust Watermarking Algorithm for Digital Image Based on DCT-SVD and Arnold Scrambling

○He Cuiwei・Mohammad Reza Asharif・Shiro Tamaki・

Carlos Enrique Gutierrez (Univ. of the Ryukyus)・

Katsumi Yamashita (Osaka Prefecture Univ.)・

Chen Rui (Central South Univ. of Forestry and Tech.)

SAT-2. シームカービング処理におけるエネルギー計算の一考察 ○竹本成治・玉城史朗・モハマッド レザー アシャリフ (琉球大)

SAT-3. An Iterative ICI Cancellation for OFDM Mobile Receiver ○Hai Tran・Shiro Tamaki (Univ. of the Ryukyus)

SAT-4. OFDM を基にしたリレーシステムに対するフィードバックマルチパスの盲目的適応同等化

○アシャリフ ファラマルズ・玉城史朗・アシャリフ モハマッド レザー (琉球大)・

ヒュン ギュン リュウ (チュンク国立大)

SANE-5. スペクトルの数式モデルフィッティングに基づく複峰性クラッタ抑圧の検討 関口高志 (三菱電機)

SANE-6. 差ビームテーパによるモノパルス測角精度の改善 ○高橋龍平・原 照幸 (三菱電機)

SANE-7. パルスドップラレーダにおける加速度目標の積分方式 ○亀田洋志・森 正憲・原 照幸 (三菱電機)

SANE-8. 時間差測位追尾 ASTRA 法の検討 ○松崎貴史・高林佑樹・亀田洋志・猪田健太 (三菱電機)

SANE-9. 複数センサネットワーク間の航跡相関アルゴリズム ○横山良晃・青山 功・亀田洋志 (三菱電機)

SANE-10. 二重仮説による追尾処理に基づく複数角度センサの偽像除去方式 ○丸山晃佐・亀田洋志 (三菱電機)

SANE-11. 航空機搭載 Ku バンド SAR を用いた複数開口受信の観測によるアジマスアンビギュイティ抑圧の実験

○土田正芳・諏訪 啓・山本和彦・山岡智也・長谷川秀樹・林 圭・遠藤 純・中野陽介 (三菱電機)

SANE-12. A New Model-Based Scattering Power Decomposition Method for Polarimetric SAR Data

○Yi Cui・Yoshio Yamaguchi・Hirokazu Kobayashi・Sang-Eun Park (Niigata Univ.)

SANE-13. グラフィックス用プロセッサによる反射鏡アンテナ最適化の高速化 ○後町将人・瀧川道生 (三菱電機)・

佐藤裕幸 (岩手県立大)・高橋勝己・尾崎敦夫 (三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会

【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

☆SAT 研究会

【問合先】

SAT 研究会幹事

E-mail: sat\_ac-sec@mail.ieice.org

吉村直子 (NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

廣瀬貴史 (NTT)

TEL [046] 859-3343, FAX [046] 855-1752

## ★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠  
幹事 竹中 崇・中武繁寿

日時 3月4日(月) 13:50~17:00  
5日(火) 10:00~16:50  
6日(水) 10:30~16:00

会場 沖縄県青年会館(那覇市久米2-15-23. 空港よりバスで那覇バスターミナル下車(220円) 徒歩10分. モノレール:旭橋駅下車(230円) 徒歩5分. タクシー約10分(約1,000円). <http://www.okiseikan.or.jp/new/news.php> 島袋勝彦(琉球大)

議題 システムオンシリコンを支える設計技術

### 4日 ディベンダブル(1)

1. エラートラントアプリケーションのための多重縮退故障を用いた論理簡単化アルゴリズム ○亀井惇平・松木伸伍・岩垣 剛・市原英行・井上智生(広島市大)
2. オンラインテストを指向したIDDQ電流しきい値決定手法の検討 ○新谷道広・佐藤高史(京大)
3. オンチップセンサを用いたばらつき自己補償手法の検討 ○樋口裕磨・橋本昌宜・尾上孝雄(阪大)

### 配置最適化

4. APR法に基づくLegalization手法 ○平江正太・石川真帆・高島康裕(北九州市大)
5. TSVの挿入を制御する解析的配置手法 ○森田耕司・高島康裕(北九州市大)
6. Rectilinear Blockに対する解析的配置手法 ○五反田明了・高島康裕(北九州市大)
7. 凸多角形素子に対する最小総変位配置実現手法 ○松ヶ野紘樹・平江正太・高島康裕(北九州市大)

### 5日午前 上流設計

1. C言語動作記述における多重ループ自動パイプライン化のための一手法 ○南部真宏・神戸尚志(近畿大)
2. 粗粒度再構成可能回路自動生成のための高速化手法とその評価 ○荒木統行・神戸尚志(近畿大)
3. 既存RTL資産の高位からの再合成アプローチ ○立岡真人・金子峰雄(北陸先端大)
4. 高信頼なネットワークオンチップ実現のためのマルチタスクのスケジューリングとアロケーション ○齋藤 寛(会津大)・米田友洋(NII)・中村祐一(NEC)

### 5日午後 招待講演

5. [招待講演] サイバーフィジカルシステムとLSI設計技術 ○加藤真平・枝廣正人(名大)

### 配線設計

6. 小型SoG-LCDの入力配線用最適設計手法とその評価 ○水津太一・築山修治(中大)
7. 単層プリント基板のための各ネットの目標配線長達成性を考慮した配線手法 ○篠田享佑・高橋篤司(東工大)
8. マルチコアプロセッサのための配線領域共有並列概略配線手法 ○新谷康弘・稲木雅人・永山 忍・若林真一(広島市大)

### VLD Excellent Student Award 講演

9. VLD Excellent Student Award 受賞講演(1)
10. VLD Excellent Student Award 受賞講演(2)
11. VLD Excellent Student Award 受賞講演(3)

### 6日午前 回路設計

1. 確率的動作モデルを用いたオシレータベース真性乱数生成回

- 路のワーストケース設計手法 ○天木健彦・橋本昌宜(阪大)・密山幸男(高知工大)・尾上孝雄(阪大)
  2. 細粒度パワーゲーティングにおけるスリープ制御回路の消費電力低減化手法の検討と評価 ○鶴井敬大・宇佐美公良・橋田達徳・武藤徹也・島田祐樹(芝浦工大)
  3. 公的検定用プロセッサCOMET IIの組込み向けソフトコアとしての設計と評価 ○木本 慧・泉 知論(立命館大)
- 6日午後 タイミング設計(13:15~)
4. 相関が存在する再収斂パスの遅延解析 ○細木雅世・佐々木浩志・高島康裕(北九州市大)
  5. プログラマブル遅延制御回路に関する検討 ○豊田優一・中島由貴・藤村 徹・中武繁寿(北九州市大)
  6. Test Planning for Post-Silicon Skew Tuning Based on Graph Partitioning Mineo Kaneko (JAIST)
- ディベンダブル(2)
7. 故障確率を考慮した階層型フォールト解析とその実装評価 ○後藤 輝・吉川雅弥(名城大)
  8. フォールト解析対策回路を対象としたハードウェアトロイの実装と評価 ○塚平峻矢・松島大祐(名城大)・熊木武志(立命館大)・吉川雅弥(名城大)
  9. レジスタビット反転を用いた経年劣化に強靱な多重化回路 ○岡田翔伍・増田政基(京都工繊大)・姚 駿・嶋田 創(奈良先端大)・小林和淑(京都工繊大)

### 【問合先】

竹中 崇(NEC)  
E-mail: [takenaka@aj.jp.nec.com](mailto:takenaka@aj.jp.nec.com)  
TEL [044] 431-7194

◎VLD研究会ホームページも御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/vld/>

## ◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

### ●第14回フォトリックネットワークチュートリアル講演会

フォトリックネットワーク研究会は、PIF(超高速フォトリックネットワーク開発推進協議会)と共催で、フォトリックネットワークチュートリアル(第二種研究会)を開催致します。今回は、医療と情報をテーマに、関係の深い医学部の先生2名をお迎えし、御講演を頂きます。

日時 平成25年2月8日(金) 14:00~17:00

会場 テレコム先端技術研究支援センター(SCAT)5階会議室(新宿区新宿1-20-2小池ビル <http://www.scat.or.jp/scat/kotu.html>)

参加費 電子情報通信学会会員、PIF会員、及び学生 無料  
一般 5,000円。(テキスト代別途 3,000円)

定員 70名(定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込み下さい。)

チュートリアル講演

1. かがや速隔医療ネットワーク(K-MIX)の実際—日本版電子健康記録(EHR)の実現にむけて— 原 量宏(香川大/徳島文理大)
2. ネットワークの高度医療応用のため—「情報薬」による健康

管理— 辰巳治之 (札幌医科大)  
参加申込 <http://www.scat.or.jp/photonic/>より事前登録をお願い致します。申込画面の説明にご致しますように、当日は登録時の入力画面をプリントアウトして御持参願います。多数の方の御参加をお待ちしております。

#### 【問合先】

品田 聡 (NICT)  
TEL [042] 327-5679, FAX [042] 327-7035  
E-mail: sshinada@nict.go.jp  
主催 フォトニックネットワーク研究専門委員会, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会

### ●第5回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)  
副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本 裕 (NTT)・盛岡敏夫 (デンマーク工大)  
日時 平成25年2月28日(木) 9:30~12:10  
会場 機械振興会館地下3階研修1号室 (<http://www.jspmi.or.jp/>)  
テーマ:革新的光ファイバ技術の研究開発成果と今後の展望

#### 概要

光ファイバの通信容量限界の打破に向け、空間多重に着目した新たな光伝送技術の研究開発が活発化しています。日本は、世界に先駆けマルチコア光ファイバの研究開発に着手し、これまでに数多くの研究成果を報告し、空間多重用光ファイバの研究開発を牽引してきました。今回の研究会では、2010年にスタートし、2013年3月に3カ年の研究期間を満了する、独立行政法人情報通信研究機構の委託研究である、「革新的光ファイバ技術の研究開発」の最新の研究成果と今後の展望について、各課題の受託者様から御紹介頂きます。空間多重伝送技術の研究開発の更なる飛躍に向けて、多数の皆様のお参加をお待ちしております。

#### プログラム

- [招待講演] 空間多重用光ファイバ技術の研究動向と今後の展望  
東 裕司・中島和秀 (NTT)・大橋正治 (阪府大)・小柴正則 (北大)・國分泰雄 (横浜国大)
- [招待講演] 低損失・低クロストークマルチコア光ファイバ  
笹岡英資 (住友電工)
- [招待講演] マルチコア光ファイバにおける空孔構造の応用  
姚 兵・大園和正・小倉 明 (日立電線)・関谷晴彦 エジソン・齋藤和也 (豊田工大)
- [招待講演] 環状マルチコア光ファイバの特性と融着接続技術  
竹永勝宏・松尾昌一郎 (フジラ)
- [招待講演] 大コアマルチコア光ファイバの特性とクロストークの評価技術  
今村勝徳・杉崎隆一 (古河電工)・吉田真人・中沢正隆 (東北大)
- [招待講演] 非円形クラッドマルチコアファイバ  
田中正俊・八若正義・藤巻洋介・谷口浩一 (三菱電線)

参加資格 特に関いません。

参加費 一般 3,000円 学生 無料

参加申込 当日会場にて受け付けます。

◎最新情報は、光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT 研究会) のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~exat/>

◎本研究会に引き続き、28日午後、同一会場にて OFT/OCS/

OPE 研究会が行われます。また、研究会終了後18時頃より OFT/OCS/OPE/EXAT 研究会合同の懇親会を開催致します。併せての参加を御検討下さい。

#### 【問合先】 EXAT 研究会幹事

福知 清 (NEC)  
TEL [044] 396-2816, FAX [044] 435-1096  
E-mail: exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

### ●第29回ネットワークシステム・情報ネットワーク研究ワークショップ

基調テーマ:「クラウドの先—SDN 時代の研究開発の方向性を探る—」

ネットワークシステム研究専門委員会委員長 漆谷重雄 (NII)  
情報ネットワーク研究専門委員会委員長 浅見 徹 (東大)  
ネットワークシステム研究専門委員会及び情報ネットワーク研究専門委員会共催により、第29回ネットワークシステム・情報ネットワーク研究ワークショップを下記要領にて開催致します。奮って御参加下さいませよう願ひ申し上げます。また、お近くの方々もお誘い頂けますと幸いに存じます。

#### 趣旨

近年、クラウドコンピューティング技術の進展に伴い、新しいネットワークアプリケーションやネットワークを介した各種サービスが登場・発展し、ネットワーク全体の構成や通信トラフィックの流れが大きく変わってきています。また、2011年の東日本大震災以降、事業継続性の観点から企業・大学等の情報基盤の分散化が検討され、プライベートクラウド化やハイブリッドクラウド化の動きが加速しています。オンデマンドでリソースを提供するクラウドサービスでは、サーバやストレージに加えてこれらを結合するネットワークの仮想化とオンデマンド設定が必須になってきており、SDN (Software Defined Network) 技術や OpenFlow 技術に大きな注目が集まっています。一方、Hadoop に代表される大規模データの分散処理技術の進展に伴い、処理結果のタイムリーな活用による新たなビジネスチャンスの創造や新しいデータ科学の進展が期待されており、これらのいわゆるビッグデータを支えるネットワークもそのインパクトを十分に把握しておく必要があります。以上のようにネットワークを取り巻く環境は非常に複雑になってきており、これら全体の動向を大局的に把握し研究開発に生かす必要があります。

本ワークショップでは、産業界を代表する専門家の方々の御講演により、最近のネットワークを取り巻く環境や最新技術を網羅的に紹介するとともに、今後のネットワーク技術の進むべき方向性を考えます。また、大学や研究機関での研究開発の方向性や産学連携の可能性に関して一言アドバイスを頂きます。

日時 平成25年3月6日(水) 14:00~7日(木) 17:30

(\*)本ワークショップでは、平成24年度の「ネットワークシステム研究賞」及び「情報ネットワーク研究賞」の表彰を併せて行います。また、7日午前、8日8:30~15:50に同じ会場にて、情報ネットワーク研究専門委員会並びにネットワークシステム研究専門委員会併催の第一種研究会を開催致します。ワークショップと時間を分けておりますので、両方に参加可能です。是非、本ワークショップと併せて御参加下さい。

会場 沖縄残波岬ロイヤルホテル (中頭郡読谷村字宇座 1575。那覇空港から約40km。タクシーで約60分、空港リムジンバ

スで約 90 分。 <http://www.daiwaresort.jp/okinawa/index.html/> TEL [098] 958-5000

#### 内容

基調テーマ：「クラウドの先—SDN 時代の研究開発の方向性を探る—」

講演内容：下記の「ワークショッププログラム（予定）」を御覧下さい。（内容、講演順序、時間等については変更する場合がございます。御了承の程、お願い申し上げます）

参加費 一般 30,000 円 学生 10,000 円

- ・参加費は当日受付にて現金でお支払い下さい。
  - ・参加費は、ワークショップ資料代及び7日の昼食代を含みます。
  - ・また、6日の懇親パーティ費も参加費に含まれております。
  - ・懇親パーティに参加されない場合でも、また7日の昼食をおとりにならない場合でも、上記参加費となります。御了承のほど、お願い申し上げます。
  - ・同時開催致します第一種研究会の資料代は、参加費には含まれておりません。
  - ・参加申し込み後のキャンセルにつきましては、キャンセル料をお支払い頂く場合もございます。あらかじめ御承知おき下さい。
- 宿泊に関する御案内

宿泊はワークショップ、第一種研究会が開催されます沖縄残波岬ロイヤルホテルをお勧め致します。また、旅行代理店とタイアップしまして、航空券と宿泊がセットになっております。お得なパッケージを企画させて頂きました。詳細は後日公開させて頂きます。ワークショップ事務局では宿泊手配を申し受けておりませんので御注意下さい。

#### 【ワークショップ参加申込方法】

下記ワークショップの HP より申込用紙を取得し、所定事項を御記入の上、下記宛てに FAX、または、E-mail により御送付願います。 <http://www.ieice.org/cs/ns/ws/2013/index.html>

#### 【参加申込先】

中津川恵一（富士通研ネットワーク方式研究部）  
〒211-8588 川崎市中原区小田中 4-1-1  
TEL [044] 754-2811, FAX [044] 754-2741  
E-mail : ns-in-ws29-registration@ml.labs.fujitsu.com

#### 【ワークショップ全般に関する問合せ先】

ワークショップ全般に関するお問い合わせは、以下の者が承ります。なお、参加申込（含：参加費に関するお問合せ）については、前項の参加申込担当（富士通研究所・中津川）宛てにお願い致します。

栗本 崇（NS 研究会幹事）  
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL [0422] 59-3441, FAX [0422] 59-7460  
E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典（NS 研究会幹事補佐）  
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL [0422] 59-7434, FAX [0422] 59-3787  
E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org

[第 29 回ネットワークシステム・情報ネットワーク研究ワークショップ プログラム（予定）]

以下のプログラムを計画しております。しかし、諸事情につき、内容、講演順序、時間等の変更がある場合がございますので、御了承のほどお願い申し上げます。最新の情報はワークショップホームページ (<http://www.ieice.org/cs/ns/ws/2013/index.html>) で御確認下さい。

6 日（ワークショップ）

第二種研究会開催案内

I. 運営委員長挨拶（14:00~14:10） 漆谷重雄（NII）

II. 招待講演（1）（14:10~16:40）

招待講演（1）（2）では、講師として以下の皆様に御登壇を頂く予定です。

堀内康弘（アマゾンデータサービスジャパン）  
森 工（Juniper Networks）  
石黒邦宏（ストラトス717, IP インフュージョン）  
田中一男（NTT テクノ先端技術）  
石井 旬（IBM）  
塩本公平（NTT）  
渡部信幸（NTT）  
西原基夫（NEC）  
坂本健一（日立）  
加藤次雄（富士通研）

プログラムの詳細が決まり次第更新致します。

展示（16:40~17:20）

懇親会（18:20~20:00）NS 研究賞・IN 研究賞表彰式含む

7 日午前（8:30~12:0）第一種研究会

情報ネットワーク・ネットワークシステム合同研究会（第一種研究会）一般発表

7 日午後（13:30~17:30）ワークショップ

III. 招待講演（2）

プログラムの詳細が決まり次第更新致します。

8 日（8:30~15:50）第一種研究会

情報ネットワーク・ネットワークシステム合同研究会（第一種研究会）一般発表

主催 ネットワークシステム研究専門委員会、情報ネットワーク研究専門委員会

## ●2013 年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 高野 誠

日時 平成 25 年 3 月 14 日（木）午後

会場 屋久島環境文化村センター（熊毛郡屋久島町）

テーマ：大容量コンテンツ・サービス時代の ICT 管理

#### 概要

大容量コンテンツの流通やスマートフォンなどの高機能端末の登場、及びネットワークサービスの普及により、ネットワーク上の流通トラフィックがますます多様化している。その結果、ネットワークオペレーション及びマネジメント上の問題がますます複雑化すると考えられ、アプリケーションプロバイダ、サービス事業者、及び通信事業者が連携をしながら解決していく必要があると考えられる。本ワークショップでは、複雑化する事例を参照しつつ、各者に求められる管理技術の将来的な方向性について議論する機会を提供することを目的とする。

#### プログラム

##### 招待講演

[招待講演] ハイパージャイアントの台頭がネットワーク運用に及ぼす影響について 亀井 聡（NTT コミュニケーションズ）

[招待講演] キャリアコアネットワークにおける SDN に対する期待と課題（仮題） 佐藤裕昭（NTT ドコモ）

[招待講演] プロバイダにおけるネットワーク運用（仮題）

講演者調整中

[招待講演] アプリケーション・サービス事業者によるトラフィック対策（仮題） 講演者調整中

告 23

[招待講演] ユーザによるトラフィック経路制御がISPに与えるインパクト 長谷川 剛 (阪大)

パネルディスカッション

パネルチェア: 高野 誠 (NTT)

パネリスト: 招待講演者5名

懇親会 プログラム終了後に懇親会を開催します。また、本懇親会にて2012年のICM研究賞、ICM功労賞、ICM英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です。

#### 【参加費と参加申込】

参加費 一般10,000円、学生5,000円

参加登録 併催する第一種研究会のプログラムが決定した時点で、ICM研究会HPに参加登録ページをオープン予定です。

参加登録締切 3月1日(金)

カジュアルウェアでの参加をお勧めします。

#### 【問合先】

吉原貴仁 (KDDI 研)

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>

## ◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

### ●第1回ネットワークソフトウェア研究会

実行委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成25年4月18日(木)、19日(金)

会場 輪島商工会議所(輪島市)

テーマ: ネットワークサービスソフトウェアの仮想化技術+一般(ネットワークシステム研究会(NS)との併催)

#### 概要

ネットワーク技術の進歩は著しく、今後もイノベティブな新サービスの登場が期待される。新たなサービスを迅速かつ低コストに提供するために、サーバやネットワークリソースなど、ネットワークシステムの構成要素全体を抽象化し、動的に管理可能とする仮想化技術が注目されている(例えばSDN: Software Defined Network)。一方で、仮想化環境においては、ネットワークを形成する物理装置の役割が多様化されることから、予期せぬ問題が発生し、それらの原因解析に多くの時間を費やすことも懸念される。本研究会では、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワークサービスソフトウェアの仮想化に向けて幅広く議論を行う。

- ・イノベティブなネットワークサービスを実現するための基盤ソフトウェア技術
- ・ネットワークシステム全体を抽象化し、動的管理するための仮想化ソフトウェア技術

- ・ネットワークシステムの仮想化にあたり、信頼性を保つためのソフトウェア技術
- ・仮想化されたネットワークのサービス障害解析を容易化するためのソフトウェア技術
- ・その他一般

#### 本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間に囚われず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

発表形式: 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演: 掘り下げた議論を御希望の方向へ  
1件当たり約50分(質疑含む)という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。
- ・ポジションペーパー: 構想段階等にて意見を収集したい方向へ  
1件当たり約5~10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

#### 【各種締切】

一般講演申込み: 3月18日(月)

一般講演原稿提出: 4月4日(木)

ポジションペーパー申込み: 4月4日(木)

研究会参加申込み: 4月4日(木)

参加費振り込み: 4月17日(水)

#### 【一般講演の申込と原稿提出】

##### ・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要(400字程度)、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号)、講演者の方の参加費種別(一般/学生)を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も併せて御確認下さい。

##### ・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル(A4判1枚・様式自由)にて、電子メールでお送り下さい。  
※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

#### 【参加申込】



氏名, 所属, 連絡先 (住所, E-mail アドレス, 電話番号, FAX 番号), 参加費種別 (一般/学生) を明記の上, 期日までに電子メールでお申し込み下さい. 研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため, 当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mail を掲載予定ですが, 問題等ございましたら御連絡下さい.

**【参加費 (予定) と参加費支払方法】**

一般 6,000 円 学生 3,000 円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい. なお, 振込後の参加費の返還には応じかねますので, 御了承下さい. 請求書もしくは領収書が必要な場合は, 参加申込の際にその旨をお知らせ下さい.

振込先 みずほ銀行 三鷹支店  
口座名: ネットワークソフトウェア研究会  
口座番号: 普通 4298770

**【講演・参加申込先・原稿提出先】**

原 大輔 (NTT)  
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL [0422] 59-6941  
E-mail: nws-kanji@mail.ieice.org

**【研究会全般に関する問合せ先】**

奥谷武則 (NTT)  
TEL [0422] 59-3805  
主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会実行委員会  
<http://www.ieice.org/~nws/>

**●LSI とシステムのワークショップ 2013**

期日 平成 25 年 5 月 13 日 (月)~15 日 (水)

(5 月 16 日 (木) VLD/SLDM 研究会)

会場 北九州国際会議場メインホール

メインテーマ 日本半導体産業の新たな展開 (仮)

**開催趣旨**

本ワークショップは「LSI とシステムのワークショップ」に改称して再出発した ICD のフラッグシップ研究会で, 5 回目となる今回も引き続き北九州市国際会議場にて開催を致します. LSI とシステムのワークショップ 2013 では, 開催テーマを「日本半導体産業の新たな展開」(仮) とし, 日本半導体産業の課題, 日本の強み, 他業種からのヒント, イノベーションのネタ, ISSCC

動向からの研究開発動向などについての招待講演, パネルを通じ議論する場を提供します. 組織の壁を越え, 日本の進むべき道を徹底討論し, 今後何をしていくべきかを考えていきたいと思ひます.

従来どおりにポスターセッションも開催致します. ポスターセッションでは一般と学生の部があり, 御来場者との活き活きとした情報交換の場を提供します. また, VLD/SLDM 研究会を連続開催致します.

**プログラム**

後日ホームページ (<http://www.icd-ieice-jp.com/lsiws/>) にて告知致します.

**参加費**

後日ホームページ (<http://www.icd-ieice-jp.com/lsiws/>) にて告知致します.

**【ポスター発表募集】**

LSI とシステム応用に関する新しい着想, 技術開発成果の発表を募集します. 「LSI とシステム」に関するソフトウェア技術, CAD/EDA 技術, 標準化技術, 実装技術, デバイス技術, 回路技術, アイデアから実際の開発 LSI まで, 幅広い内容を対象とし, 学生部門, 一般部門の二つの部門で募集します.

応募受付 1 月下旬~3 月中旬 (予定)

**【学生部門】**

応募資格: 筆頭者が大学や高専等の教育機関に所属する「学生」であること.

募集件数: 40 件程度

表彰: 当日の参加者による投票, 並びに, 専門委員による審査に基づき, 集積回路研究会, IEEE Solid-State Circuits Society の Japan Chapter 及び Kansai Chapter から賞を授与する予定です. なお, 当日の口頭発表者が学生以外の方となった場合は審査対象外とします. また, 各賞はそれぞれ授与する学会の会員であるか, 入会が受賞の条件になります.

**【一般部門】**

応募資格: 特に制限なし.

募集件数: 10 件程度

その他, 詳細な情報はワークショップホームページ (<http://www.icd-ieice-jp.com/lsiws/>) でお知らせ致します.

◎次年度の開催予定

日程 平成 26 年 5 月 26 日 (月)~28 日 (水)

会場 未定

主催 集積回路研究専門委員会



● ..... 2013年総合大会開催案内 ..... ●

本総合大会は、4 ソサイエティ、1 グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年3月19日(火)~22日(金)  
 会 場 岐阜大学(岐阜市)  
 (会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)  
 交 通 JR岐阜駅(北口)バスロータリー9番のりばから岐阜大学・病院線(バス系統C70)または、岐南町線(バス系統N45)に乗車の上、「岐阜大学」下車、徒歩約1分。(所要時間約35分, 310円)

2013年総合大会ホームページ  
[http://www.toyoag.co.jp/ieice/G\\_top/g\\_top.html](http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html)

主なイベント内容：上記ホームページにて(1月28日)公開予定です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記からWeb登録をお願い致します。

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

2月20日(水)締切厳守(電話による予約は不可)  
 事前予約されますと、予約物を3月5日~3月7日までに請求書を同封して発送致します。  
 また、3月11日(月)までに予約物が届いていない場合には必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。  
 御予約頂きますと、3月5日~3月7日までに索引機能を充実したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講の下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)  
 <聴講参加>(本会会員：不課税, 本会会員外：消費税込)

☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となります。更に、非会員学生の聴講参加費を値下げ致しました。皆様、奮って御参加下さい。

【事前申込み(DVD含む)】

|              |        |
|--------------|--------|
| 会 員 名誉員・正 員  | 8,000円 |
| 学生員(DVD購入)** | 2,400円 |
| 60歳以上の会員***  | 2,400円 |

|           |         |
|-----------|---------|
| 非会員 社会人   | 16,000円 |
| 学生(DVDなし) | 2,400円  |
| 学生(DVD購入) | 4,800円  |

【当日申込み(DVD含む)】

|              |         |
|--------------|---------|
| 会 員 名誉員・正 員  | 10,000円 |
| 学生員(DVDなし)*  | 無料      |
| 学生員(DVD購入)** | 3,000円  |
| 60歳以上の会員***  | 3,000円  |
| 非会員 社会人      | 20,000円 |
| 学生(DVDなし)    | 3,000円  |
| 学生(DVD購入)    | 6,000円  |

[凡 例]

\* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)

\*\* 会場で会員証を提示して下さい。

\*\*\*年金以外の収入がない方が対象となります。

※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。  
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

<法人価格申込>

|                |         |
|----------------|---------|
| 1. DVD 1枚(合本付) | 90,000円 |
| 2. DVD 1枚      | 70,000円 |

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下さい。  
 冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成しておりますので、予約期限を過ぎますとお求めに出来ない場合がありますので、くれぐれも御注意下さい。  
 (発行日：平成25年3月5日/価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、前記ホームページを御覧下さい。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致しますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求書に記載)。

申込みの問合先  
 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
 電子情報通信学会 大会論文集予約係  
 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659  
 E-mail: taikai@ieice.org  
 発送・請求の問合先 E-mail: tk-tyoko@ieice.org

今回の総合大会では男女共同参画委員会の活動の一環として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに案内を掲示しますので御利用下さい。(http://www.toyoag.co.jp/ieice/G\_top/g\_top.html)(2月上旬を予定)

関西支部

●電気四学会関西支部照明技術講演会

「平成23年度照明普及賞受賞施設照明設計講演会」

平成23年度照明普及賞優秀施設賞を受賞された物件の照明設計において、照明設計を監修、担当された設計者に、各々照明計画内容について講演頂く機会を設けました。LEDが照明分野に変化をもたらしつつある昨今、照明設計の新たな展望、課題について確認する機会となればと存じ、是非御参加をお願い致します。

日 時 平成25年2月19日(火) 13:30~17:00  
受付:13:00~

会 場 大学コンソーシアム大阪D・Eルーム(大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第二ビル4階キャンパスポート大阪内 TEL [06] 6344-9560 <http://www.consortium-osaka.gr.jp/>)

講演内容(予定):

- (1) 開講の挨拶 照明学会関西支部支部長
- (2) 辰巳電子工業本社ビル照明計画 長町志穂(LEM空間工房)
- (3) 自然体感展望台六甲枝垂れ照明計画 伏見雅之(伏見雅之デザイン事務所)
- (4) ロイヤルパークホテル ザ 京都照明計画 谷地健児(竹中工務店)
- (5) 阪神高速道路8号京都線「斜久世橋区間」照明計画 斎 尚樹(因幡電機製作所)

- (6) 閉講挨拶 照明学会関西支部庶務幹事
- 聴講料 主催・共催・協賛会員:正員4,000円,照明基礎講座受講者3,000円(上限25名),学生1,000円,会員外(一般)5,000円

\*照明基礎講座受講者とは、平成23,24年度の基礎講座受講者及び平成24年度の更新受講者を指します。

定 員 50名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)

申込方法 講習会題目、開催日、会員種別、照明基礎講座受講番号(認定番号)、氏名、連絡先(会社・学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号)をFAX、E-mailで下記の申込先にお申込み下さい。当日、受付にて聴講料をお支払い頂く際に領収書を御用意させて頂きます。

申込先 照明学会関西支部事務局 加藤敏躬  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-22-38 三洋ビル4F(有)あゆみコーポレーション内  
TEL [06] 6441-5539, FAX [06] 6441-2055  
[ieij-kansai@a-youme.jp](mailto:ieij-kansai@a-youme.jp)

主 催 電子情報通信学会・照明学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

協 賛 電気設備学会関西支部

データセンターの冷却技術「京」コンピュータ・省電力プロジェクト・最新の冷却技術(※)

期 日 平成25年2月18日(月)

会 場 大田区産業プラザ(東京都大田区)

問合先 日本冷凍空調学会講習会係

TEL [03] 5623-3223, FAX [03] 5623-3229

産学連携IT人材育成シンポジウム

期 日 平成25年2月27日(水)

会 場 秋葉原UDX(東京都千代田区)

問合先 情報処理推進機構IT人材育成本部 産学連携推進センター 担当 鈴木 TEL [03] 5978-7536

FAX [03] 5978-7516 [to-suzu@ipa.go.jp](mailto:to-suzu@ipa.go.jp)

第6回情報学シンポジウム「日本がリードするビッグデータ新世紀」

期 日 平成25年2月27日(水)

会 場 日本学術会議 講堂(東京都港区)

問合先 安達 淳(同シンポジウム実行委員:NII)

[e-science-sec@nii.ac.jp](mailto:e-science-sec@nii.ac.jp)

第13回制御部門大会(※)

期 日 平成25年3月5日(火)~8日(金)

会 場 アクロス福岡(福岡市)

問合先 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 [bumon@sice.or.jp](mailto:bumon@sice.or.jp)

第40回「知能システムシンポジウム」(※)

期 日 平成25年3月14日(木), 15日(金)

会 場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス(京都市)

問合先 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 [bumon@sice.or.jp](mailto:bumon@sice.or.jp)

IIP2013 情報・知能・精密機器部門(IIP部門)講演会

期 日 平成25年3月21日(木), 22日(金)

会 場 東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)

問合先 日本機械学会情報・知能・精密機器部門 担当 関根

TEL [03] 5360-3506, FAX [03] 5360-3509

[sekine@jsme.or.jp](mailto:sekine@jsme.or.jp)

第2回岩崎コンファレンス「時代を先取りする永久磁石の学理と工学への展開」(※)

期 日 平成25年5月13日(月), 14日(火)

会 場 日立金属高輪和彊館(東京都港区)

問合先 日本磁気学会

TEL [03] 5281-0106 [msj@bj.wakwak.com](mailto:msj@bj.wakwak.com)

第18回計算工学講演会

期 日 平成25年6月19日(水)~21日(金)

会 場 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)

問合先 日本計算工学会事務局 石塚

TEL & FAX [03] 3868-8957 [office@jsces.org](mailto:office@jsces.org)

<http://www.jscs.org/koenkai/18/>

2013年第38回光学シンポジウム「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

期日 平成25年6月27日(木)、28日(金)  
会場 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)  
問合先 オリオン光学技術部 福島郁俊  
TEL [042] 691-7239 optsympo38@gmail.com

**第32回電子材料シンポジウム(EMS-32)**

期日 平成25年7月10日(水)~12日(金)  
会場 ラフォーレ琵琶湖(守山市)  
問合先 関口寛人(豊橋技術科学大学工学部電気・電子情報工学系)  
TEL [0532] 44-6746, FAX [0532] 44-6757  
ems32-query@ems.jpn.org

**第61回年次大会工学教育研究講演会「科学する心を育む工学教育—つぎなる10年間にむけて—」**

期日 平成25年8月29日(木)~31日(土)  
会場 新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市)  
問合先 日本工学教育協会事務局 川上  
TEL [03] 5442-1021, FAX [03] 5442-0241  
kawakami@jsee.or.jp

**電気学会電子・情報・システム部門大会(※)**

期日 平成25年9月4日(水)~7日(土)  
会場 北見工業大学(北見市)  
問合先 電気学会事業サービス課 同大会係  
TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704  
conf21c@iee.or.jp  
http://www2.iee.or.jp/eiss/conf2013/

●…………… 国 際 会 議 ……………●

**2013年国際固体素子・材料コンファレンス**

期日 2013年9月24日(火)~27日(金)  
会場 ヒルトン福岡シーホーク(福岡市)  
問合先 同コンファレンス事務局(インターグループ内)  
TEL [03] 5549-6909, FAX [03] 5549-3201  
ssdm\_secretariat@intergroup.co.jp

**23rd International Conference of Optical Fibre Sensors(※)**

期日 2014年6月2日(月)~6日(金)  
会場 Hotel Santemar(Santander, Spain)  
問合先 高橋信明(防衛大学校通信工学科)  
TEL [046] 841-3810(内線2537)  
FAX [046] 844-5911  
tak@nda.ac.jp http://teisa.unican.es/OFS23/

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第10回「江崎玲於奈賞」——

候補者の対象 日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジーに関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者、原則1名。  
賞の内容 本賞(賞状)、副賞(1,000万円)、記念品(賞牌)  
推薦方法 所定の用紙に必要な事項記載の上、平成25年2月12日(火)までに本会事務局会員サービス部調査課宛て提出のこと。本会からの推薦候補者は理事会で選考し会長名で推薦致します。所定の用紙は下記URLからダウンロードすること。本会からの候補者推薦可能件数2件以内。  
問合先 茨城県科学技術振興財団 担当 斎藤  
TEL [029] 301-2532, FAX [029] 301-2498  
kikaku7@pref.ibaraki.lg.jp  
http://i-step.org/prize/esaki/index.htm

——第38回井上春成賞——

対象技術

- (1) 大学、研究機関等の独創的な研究成果であること
- (2) 前項の研究成果を受けて企業が開発し、企業化した技術(販売実績があるもの)であること(研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究者及び企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。)
- (3) 科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献した技術であること
- (4) 企業が実質的販売活動を始めてから、原則5年以内の技術であること
- (5) 大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村賞本賞、恩賜発明賞を受賞した技術を除く

表彰件数 原則として2件

賞の内容 表彰状、ゴールドメダル(純金製)、研究奨励金各100万円

公募締切 平成25年3月31日(日)(当日消印有効)

問合先 井上春成賞委員会事務局(科学技術振興機構内) 総務部総務課  
TEL [048] 226-5601, FAX [048] 226-5651  
http://inouesho.jp/

## ●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

## ——教官・教員募集——

## ●静岡大学

公募人員 工学部システム工学科 教授 1 名  
平成 25 年度予定の改組後は工学研究科数理システム工学専攻に所属予定  
専門分野 情報科学またはシステム工学  
着任時期 平成 25 年 7 月 1 日以降のできるだけ早い時期  
応募締切 平成 25 年 3 月 4 日 (月) 必着  
問合先 〒432-8561 浜松市中区城北 3-5-1  
静岡大学工学部システム工学科教授 吉村 仁  
TEL [053] 478-1215, jin@sys.eng.shizuoka.ac.jp  
詳細 <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/pdf/koubo35.pdf>

## ●東京工業大学

公募人員 講師または准教授 1 名  
研究分野 組込みシステム、並列アーキテクチャ及びアナログ集積回路とその関連分野  
応募資格 博士の学位を有すること。当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できること。日本語で講義ができること  
応募締切 平成 25 年 4 月 1 日 (月) 必着  
問合先 理工学研究科集積システム専攻教授 國枝博昭  
kunieda@vlsi.ss.titech.ac.jp  
詳細 <http://www.hyoka.koho.titech.ac.jp/eprd/recently/koubo/koubo.php>

## ●東京農工大学

公募人員 准教授 (テニュアトラック) 1 名  
所 属 電気電子工学専攻  
専門分野 通信システム工学及びその関連分野  
応募資格 博士の学位を有すること。国籍は問わない  
着任時期 平成 25 年 6 月 1 日以降できるだけ早い時期  
応募締切 平成 25 年 4 月 30 日 (火) 必着  
問合先 〒184-8588 小金井市中町 2-24-16  
東京農工大学大学院電気電子工学専攻 宇野 亨  
uno@cc.tuat.ac.jp  
詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>

## ●早稲田大学

公募人員 理工学術院 (電気・情報生命工学科, 電気・情報生命専攻) 専任講師または准教授 1 名  
専門分野 信号処理/機械学習の基礎とその応用に関する分野  
担当講義 回路理論及び自身の専門に関する科目  
応募資格 博士の学位を有すること  
着任時期 平成 26 年 4 月以降できるだけ早い時期  
応募締切 平成 25 年 5 月 13 日 (月) 必着  
問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和  
TEL [03] 5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp  
詳細 <http://www.eb.waseda.ac.jp>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧ください。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 4 月号掲載分 平成 25 年 2 月 25 日 (月) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

## ——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明, 閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

| 種 類   | 内 容                                      | 料 金 (税 込)                            | 備 考                 |
|-------|--|--------------------------------------|---------------------|
| 証明手数料 | 特許証明                                     | 会 員 200 円/件<br>非会員 500 円/件           |                     |
|       | 在会証明書                                    | 無 料                                  |                     |
| 閲覧手数料 | 会誌・論文誌※<br>技術研究報告<br>各種大会論文集<br>その他本会出版物 | 会 員 無 料<br>非会員 300 円/冊<br>コピー 10 円/枚 | 料金は 1 冊 (綴) ごととします。 |

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

—平成 25 年度会費お払込みのお願い—

平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 12 月初旬にお願いしましたが、1 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、今回は 2 月中旬に再度振込用紙をお送りしますのでお支払いをお願いします。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願いします。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 25 年 4 月末にお送りする予定です。

—登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい—

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認/変更について一送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
- (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX/郵送して頂く形式をとっております。

—平成 25 年 2 月号及び 3 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ—

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

2月号 [英文] \*Mathematical Systems Science and its Applications

\*Analog Circuit Techniques and Related Topics

(通信ソサイエティ)

2月号 [和文] 通信技術の進展を支える学生論文特集

2月号 [英文] Quality of Communication Services Improving Quality of Life

3月号 [和文] ネットワーク社会の更なる発展を支える光通信技術論文特集

(エレクトロニクスソサイエティ)

2月号 [英文] Recent Progress in Microwave and Millimeter-Wave Photonics Technology

3月号 [英文] \*SQUID & its Applications

\*Recent Progress in Molecular and Organic Devices

(情報・システムソサイエティ)

2月号 [英文] Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures

3月号 [和文] 学生論文特集

3月号 [英文] \*Foundations of Computer Science

\*Face perception and recognition

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——学生論文特集（和文論文誌 A）論文募集——

学生論文特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集（平成 26 年 2 月号）として、「学生論文特集」を企画しました。

日々深化、高度化する電子情報通信技術を将来にわたり持続的に発展させるためには、優れた研究者・技術者となる人材を育成し、拡充することが重要と考えます。そこで、本特集が、若手研究者・技術者となる学生の研究活性化の契機になるよう、企画致しました。更に、和文論文誌が、若手研究者・技術者の活躍の場、関連研究者・技術者との交流の場となり、研究と学術の活性化につながることを期待しています。

本特集の対象分野は、和文論文誌 A が対象とする全分野とします。対象論文は、学生が筆頭著者である論文に限定し、若い研究者・技術者の研究活動、学術活動の活性化につながることを狙いとしています。是非、この機会に、学生皆様の研究成果を論文として積極的に投稿して頂くようお願い申し上げます。

本特集では、画像・映像・音声・プログラムなどのデジタルデータを論文の付録とすることも可能です。採録論文付録のデジタルデータは本会の Transactions Online において、論文本体とともに掲載する予定です。

### 1. 対象分野

基礎・境界ソサイエティ和文論文誌がカバーする分野全て：

電気音響、音響一般、騒音、振動、音声、聴覚、超音波、デジタル信号処理、アナログ信号処理、システムと制御、非線形問題、回路理論、回路解析、VLSI 設計技術と CAD、組込みシステム、数値計算、数理計画法、アルゴリズムとデータ構造・計算複雑度、グラフとネットワーク、信頼性、保全性、安全性、情報セキュリティ基礎、情報理論、符号理論、通信理論、信号理論基礎、スペクトル拡散技術、移動情報通信・パーソナル通信、高度交通システム（ITS）、画像、視覚、コンピュータグラフィックス（CG）基礎、人工知能、ヒューマンコミュニケーション、ニューラルネットワーク及び生物工学、マルチメディア環境技術、情報倫理・情報通信倫理、コンカレント工学、測定・計測、基礎理論

### 2. 対象論文

学生（社会人学生を含む）が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で卒業、若しくは、修了していても学生のときに行った研究成果についての論文であれば受け付けることとしますが、平成 25 年 3 月末時点で学生とします。

### 3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領、査読基準は通常の投稿論文と同一とします。

原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」（[http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html)）を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

査読者と編集委員の方には、教育的指導の側面も意識したコメントを書いて頂くよう努めます。指導教員による論文執筆の指導が行われた論文が投稿されることを希望しています。

### 4. デジタルデータについて

デジタルデータを論文の付録としたい場合は、下記を御参照下さい。

- (1) 論文本体で首尾一貫した内容とし、デジタルデータは付録（参考情報）として取り扱います。
- (2) デジタルデータの著作権は著者に残し、学会には Web 上での公開や、DVD 等への収録等の利用に関する許諾を取得させて頂きます。（デジタルデータに Copyright が著者に所属する旨を記載させて頂きます。）
- (3) デジタルデータの容量上限については以下のようにさせて頂きます。
  - (a) 1 ファイル当りの上限は 50 MByte とします。
  - (b) 1 論文当りの上限（容量、ファイル数）を設定する場合があります。
- (4) デジタルデータの掲載・編集作業等の費用については、「付録」として扱う（論文本体に埋め込まない）ことから、今回の特集に限り無料と致します。
- (5) デジタルデータの提出は、デジタルデータを収録した CD または DVD を必要枚数作成し、事務局まで投稿締切日までに送付して下さい（必要枚数：論文 4 枚、レター 3 枚）。
- (6) デジタルデータのメディアへの収録方法、論文本文からの引用方法については「デジタルエンターテイメントにおける数値・技術とコンテンツ小特集」と同一と致します。詳細は当該小特集募集にある「『デジタルエンターテイメントにおける数値・技術とコンテンツ小特集号』の論文原稿及び採録論文付録のコンテンツ・デジタルデータの作成方法について」（[http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/online\\_kit.lzh](http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/online_kit.lzh)）を御覧下さい。

### 5. 論文投稿締切日 平成 25 年 5 月 7 日（火）厳守

### 6. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-a@ieice.org  
※郵送の場合は、封筒に特集名を朱記して下さい。

### 7. 問合せ先

栗原正純（電気通信大学）  
E-mail : kurihara@uec.ac.jp

### 8. 特集編集委員会

委員長 岡 育生  
編集幹事 栗原正純  
編集委員 平成 24 年度和文論文誌 A 編集委員

### 9. 付記

\* 本小特集を含む本会論文誌に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。

\* 採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## ——柔軟な ICT システムとサービスに向けた 管理技術小特集（英文論文誌 B）論文募集——

### 柔軟な ICT システムとサービスに向けた 管理技術小特集編集委員会

多くのユーザがネットワーク上に提供される計算資源・通信資源を共用するクラウドコンピューティングの隆盛とともに、物理的な計算資源・通信資源を、仮想的な資源として安全かつ効率的に管理する仮想化技術が発展してまいりました。仮想マシン、Software Defined Network (SDN) など仮想化技術の登場により、ICT システムは、物理的制約を受けず構成を変更可能になるなど、その柔軟性を増しています。一方、柔軟性の向上は、ICT システムの複雑化をもたらすため、情報通信マネジメントの役割はますます大きくなってきております。そこで、仮想化された情報・通信・サービスシステムの管理において、新たな提案、技術成果、測定・運用・実装からの知見の発表を促し、研究の加速、発展に資することを目的に、「柔軟な ICT システムとサービスに向けた管理技術」小特集（平成 26 年 1 月号）を企画致しました。多数の方の積極的な御投稿を期待しております。

#### 1. 対象分野

以下の分野を対象とします。仮想化されたシステム、ネットワーク及びそれに付随する従来の制御、運用管理に関する幅広いトピックを募集します。

- ・ネットワーク管理と運用 (SDN, 仮想網, オーバレイ, センサ・アドホックネットワーク, コグニティブ無線, ソフトウェア無線)
- ・システム管理 (仮想マシン管理, データセンタ管理, 端末管理)
- ・サービス管理 (ビジネスモデル, スマートグリッド, クラウドコンピューティング, IT サービス管理, Big Data, IoT)
- ・要素技術 (モニタリング, 品質評価, 性能管理, トラフィック制御, QoS, 課金, 障害管理, 構成管理, セキュリティ)
- ・管理理論 (制御理論, 最適化理論, シミュレーション, 実証手法)
- ・その他

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Section (Issue)/Transactions” で [Special-EB] Management for Flexible ICT Systems and Services を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を、論文投稿締切日までに下記送

付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 5 月 17 日 (金) 必着

#### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

吉原貴仁 KDDI 研究所  
〒102-8460 千代田区飯田橋 3-10-10  
TEL [03] 6678-6126, FAX [03] 6678-0457  
E-mail: [icm-trans-si@mail.ieice.org](mailto:icm-trans-si@mail.ieice.org)

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 登内敏夫 (NEC)  
幹事 吉原貴仁 (KDDI 研)  
委員 朝香卓也 (首都大東京), 阿多信吾 (阪市大), 漆谷重雄 (NII), 木下和彦 (阪大), 佐々木紀之 (NTT コムウェア), 笹山浩二 (NTT), 高橋英士 (NEC), 野村祐士 (富士通研), 矢守恭子 (朝日大)

#### 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——学生論文特集（和文論文誌 D）論文募集——

### 学生論文特集編集委員会

和文論文誌 D 編集委員会では、情熱と進取の気概にあふれる若手研究者を育成するために、学生論文特集 (2014 年 3 月号) を企画致しました。情報通信技術の発展は、多様な研究に支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、若き研究者として研究の最先端を担っています。学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、情報通信分野の学術活性化にとって極めて重要です。本特集を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すことはもちろん、若手研究者同士の分野横断的な新しい研究交流、そして研究活性化の契機となることを期待しています。更に、論文の執筆・修正を通じて、若手研究者の方々が、問題の本質を捉え、自らのアイデアを整理・検証し、その核心を必要十分に説明する能力をかん養されることを望んでいます。是非この機会に研究成果をとりまとめ、投稿して頂くようお願い致します。なお、特に優秀と認められる論文があった場合には、「学生論文特集秀逸論文」として掲載することを予定しています。

#### 1. 対象分野

情報・システム分野全般  
情報・システム基礎, 計算機システム, デイペンダブルコンピューティング, ソフトウェアシステム, ソフトウェア工学, 情報ネットワーク, データ工学・Web 情報システム, 人工知能・データマイニング, ヒューマンコンピュータインタラクション, オフィスインフォメーションシステム, 教育工学, 福祉工学, 生体工学, バイオサイバネティクス, ニューロコンピューティング, パターン認識, 画像・映像処理, 画像認識, コンピュータビ



ジョン, コンピュータグラフィックス, マルチメディア処理, 音声, 聴覚, 音楽情報処理, 自然言語処理, 感性情報処理

## 2. 対象論文

学生が筆頭著者である論文に限定します。ただし、学生とは投稿時点若しくは2013年3月末時点で学生(社会人学生を含む)であることを指します。

## 3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領, 査読基準は通常の投稿論文と同一です。システム開発論文も受け付けますが, レターは除きます。「投稿のしおり」は下記URLで閲覧できます。

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)

## 4. 論文投稿方法

### (A) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし, 投稿原稿のPDFファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

### (B) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

## 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org  
※郵送の際は, 封筒に「学生論文特集」を朱記して下さい。

## 5. 論文投稿締切日 平成25年6月2日(日) 23:59 厳守 (6月3日0時0分に受付がクローズします)

## 6. 問合せ先

一般社団法人電子情報通信学会和文論文誌D担当  
TEL [03] 3433-6692, E-mail: wabun-dl@ieice.org

## 7. 特集編集委員会

委員長 峯松信明(東大)  
幹事 潮田 明(富士通研), 北原 格(筑波大), 吉田健一(筑波大), D編集委員から1名  
委員 和文論文誌D編集委員(2013年度)

## 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし, 企業等法人による社内利用目的の複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては, その必要はございません。(社外頒布目的の複写については, 許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては, (社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接, 下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

## Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619



# 通信ソサイエティマガジン B-plus 年間購読申込用紙

(25号~28号)

## 今後の特集号予定

- 25号 無線技術でスマートな社会を実現する
- 26号 こんなところにもICT
- 27号 クラウドはモバイルと連携できるか
- 28号 子どもに教えるサイエンス

※特集号名は変更になる場合があります。



## 申込および支払方法

通信ソサイエティマガジンでは、年間購読を受け付けております。年間購読を御希望の方は、本用紙に必要事項を記入の上、下記までファクシミリ若しくは電子メールの添付ファイル(PDF)にて学会事務局まで御送付下さい。請求書同封で冊子をお送り致します。お支払いは同封の請求書にてお願い致します。

通信ソサイエティマガジンの年間購読(4冊/年):3,600円

|                                  |                |
|----------------------------------|----------------|
| 申込者氏名                            |                |
| 見積書日付<br>年 月 日                   | 請求書日付<br>年 月 日 |
| 納品書日付<br>年 月 日                   |                |
| 請求書宛名                            |                |
| 送付先 〒<br><br>(部課名, 研究室名まで御記入下さい) |                |
| 電話番号                             | 電子メール          |
| 事務局への通信欄                         |                |

※購読を開始されましたら、文書による中止届出がない限り、次年度以降も自動的に継続されますの御注意下さい。

**申込書送付先  
連絡先**

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
(社)電子情報通信学会 編集出版部 通信ソサイエティマガジン担当  
電話:03-3433-6692 E-mail:b-plus@ieice.org

**FAX 03-3433-6616**

# IEICE Communications Express (ComEX)

## 投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- Webを用いた論文公開により世界中の読者へ発信可能
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能
- 迅速な論文公開(目標:投稿受付から約1ヵ月での掲載)

2013年5月31日までに投稿されますと**掲載料が半額になるキャンペーン**を実施しております。この機会に、是非、速報性の高いComEXへの論文投稿を御検討下さい。

- 対象分野  
基礎、光、ネットワーク、無線、無線システム、マルチメディアシステムなど、通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

- 問合せ先  
一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2012年10月1日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)  
編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)  
編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機),  
関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大),  
長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大),  
藤元美俊(福井大), 松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT),  
Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):  
青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタIT開発センター), 酒井善則(放送大),  
吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):  
Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,  
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,  
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,  
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,  
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,  
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,  
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,  
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,  
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)



# FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2013年9月4日(水)～6日(金)  
会 場：鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)

FIT2013 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

査読付き論文受付期間(予定)：2013年3月6日(水)～4月17日(水)  
一般論文 受付期間(予定)：2013年4月24日(水)～5月23日(木)

◆論文ページ数：2～8 ページ程度 ◆講 演 時 間：20分  
◆3 ページ目以降はエキストラページ料金(3,000円/ページ)が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

また、今回のFITより一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を1件選定(該当なしもあり)する「FIT奨励賞」を創設致しました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

## ●論文誌への道! 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度(6～8 ページ程度)

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文をFITとして電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Webからの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2013年6月末頃に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

## ●申込主要日程(予定) ※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

### ■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2013年3月6日(水)  
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切  
：2013年4月17日(水)  
査読の採否結果通知：2013年6月21日(金)  
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)  
：2013年6月21日(金)  
最終掲載原稿締切：2013年7月1日(月)

### ■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2013年4月24日(水)  
登録申込締切：2013年5月23日(木)  
最終掲載原稿締切：2013年7月1日(月)

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2013 Web ページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2013 Web ページでお知らせ致します。

## ●査読付き論文(4～8 ページ程度)

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞3件程度、FIT 論文賞7件程度を選定し、表彰式(FIT2013 会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金20万円、FIT 論文賞受賞論文にはFIT 推進委員会より賞金5万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

## ●一般論文(2～8 ページ程度)

当該FITでの発表件数の1.5%を上限として、2013年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金3万円)としてFIT2014の表彰式で贈呈します。

## ●問い合わせ先(FIT2013 幹事学会)

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
一般社団法人 情報処理学会 事業部門 TEL [03] 3518-8373 FAX [03] 3518-8375 E-mail : jigyo@ipsj.or.jp